東京都電線共同溝整備マニュアル

標準構造図集
【参考資料】

令和　8　年　4　月

東京都建設局

許可なく複製、転載を禁ずる。

－問い合わせ先－
東京都建設局道路管理部安全施設課
無電柱化技術担当　TEL03-5320-7941（直通）

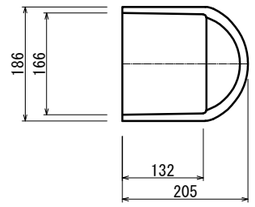
〈参考資料〉　目　次

種　別	名　称	寸 法（W×H×L）	No.	頁
その他 [152][153][19][2]	通信系管路（キャップ）		15208	01
	電力系・通信系管路＜部材表＞		15301	02
	通信系管路＜部材表＞		15302	03
	共用ＦＡ方式標準配置図		19001	04
	共用ＦＡ方式一般部標準構成図		19003	05
	単管路方式（電力）一般部標準構成図			06
	単管路方式（通信）一般部標準構成図			07
	電線共同溝平面図			08
	電線共同溝平面縦断図			09
	標準横断図			10
	横断図（1/2）			11
	横断図（2/2）			12
	特殊部横断図（1/2）			13
	特殊部横断図（2/2）			14
	縦断図（電力・通信）			15
	収容ケーブル規格及び収容条件表			16
	管路収容形態図			17
	特殊部収容形態図			18
	端壁構造図（1/2）			19
	端壁構造図（2/2）			20
	仮蓋（地上機器桝　直上1・2基用）		20401	21
	地上機器桝（通信用）　Ⅰ型	500×　490×　1095	20501	22
	地上機器桝（通信用）　Ⅱ型	500×　490×　900	20502	23
	地上機器桝（通信用）　Ⅲ型	500×　490×　630	20503	24
	信号用ハンドホール		20801	25
	信号用管路材（強化可とう管）			26
	信号柱立ち上がりパイプ構造図			27

通信系管路材（キャップ）　S=1/10

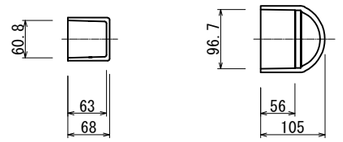
共用FA管キャップ

(VP管　φ150)



差込み継手硬質ビニル管キャップ

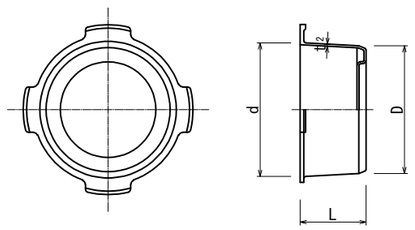
(PV　φ50、φ75)



（φ50用）　（φ75用）

ボディ管用仮止めキャップ受差兼用　（参考）

（φ150，φ200，φ250）

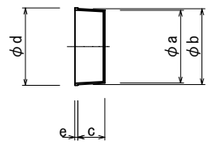


単位：mm

呼び径	外径		厚さ	全長
	d	D	t_2	L
150	167	164	4	85
200	220	214	4	100
250	271	266	4	115

差込み継手硬質ビニル管　仮止めキャップ受差兼用　（参考）

(PV　φ50、φ75)



呼び径
50
75

（注：記載中の規定なき寸法は、基準値または参考値とする）

NO	作成年度	通信系管路材（キャップ）
15208	R8	

電力･通信系管路
電力系・通信系管路＜部材表＞

【①単管路・単管路方式用電力管】

施工部位			標準使用部材		管種	仕様・規格	備考
特殊部際	電力管	起点・終点 共通	ダクトスリーブ		CCVP	口径：φ100,130	
		終点部	ヤリトリ継手		CCVP	口径：φ100,130	最終つなぎ込みのやりとり継手
直線部	電力管		直管	片受け直管 (RR)	ECVP	口径：φ100,130 長さ：L=5000（有効長）	ＲＲ、両差のいずれかで施工を行う。
				両差し直管	ECVP	口径：φ100,130 長さ：L=5000（有効長）	
			直線継手		CCVP	口径：φ100,130	両差し管を使用する場合に使用。
			伸縮継手		CCVP	口径：φ100,130	
			管枕（スペーサ）		ー	φ100用 φ130用	標準として2.5mに1箇所設置
曲線部	電力管		片受け曲管		ECVP	口径：φ100,130 曲率：3、5、10mR 長さ：L=1000（参考値）	
			直線継手		CCVP	口径：φ100,130	両差曲同士の接続用
			管枕（スペーサ）		ー	φ100用 φ130用	標準として1本に1箇所設置

【②単管路・単管路方式用通信管】

施工部位			標準使用部材	管種	仕様・規格	備考
特殊部際	通信管	起点・終点 共通	ダクトスリーブ	PV	口径：φ50,75	
直線部	通信管		片受け直管	PV	口径：φ50,75 長さ：L=5000（有効長）	ゴム輪接合
			片受け直管	VP	口径：φ100 長さ：L=5000（有効長）	ゴム輪接合
			管枕（スペーサ）	ー	φ50用,75用	標準として2.5mに1箇所設置
曲線部	通信管		片受け曲管	PV	口径：φ50,75 曲率：3、5、10mR 長さ：L=1000（有効長）	ゴム輪接合
			片受け曲管	VP	口径：φ100 曲率：3、5、10mR 長さ：L=1000（有効長）	ゴム輪接合
			管枕（スペーサ）	ー	φ50用,75用	標準として1本に1箇所設置

【③ボディ管・さや管】

施工部位			標準使用部材	管種	仕様・規格	備考
特殊部際	ボディ管	起点・終点 共通	ダクトスリーブ	VP	口径：φ200,250	※φ150用は共用FA管用を用いる。
			ボルト固定式ロータス管	VP	口径：φ200,250	
		起点部	ロータス管　　起点用	VP	口径：φ150	片受口付き
		終点部	ロータス管　　終点用	VP	口径：φ150	両差口
			スライド管	VP	口径：φ150,200,250 長さ：L=1000（全長）	最終つなぎ込みのやりとり継手
	さや管	起点・終点 共通	端末用さや管	SU	口径：φ30,50 長さ：L=1100（有効長）	ロータス管挿入専用のさや管
直線部	ボディ管		片受け直管	VP	口径：φ150,200,250 長さ：L=5000（有効長） L=2500（有効長）	ゴム輪接合 ※L=2500はφ200、φ250
			管枕（スペーサ）	ー	φ150用,φ200用,φ250用	標準として2.5mに1箇所設置
	さや管		片受け直管	SU	口径：φ30,50 長さ：L=5000（有効長）	接着接合
		中間部	ヤリトリ継手	SU	口径：φ30,50 長さ：L=1500（有効長）	
曲線部	ボディ管		片受け曲管	VP	口径：φ150,200,250 曲率：5mR,10mR 長さ：L=1000（有効長）	
			曲管レス継手	VP	口径：φ150,200,250 曲率：5mR 長さ：L=150（有効長）	
			管枕（スペーサ）	ー	φ150用,φ200用,φ250用	標準として1本に1箇所設置
	さや管		片受け直管	SU	口径：φ30,50 長さ：L=5000（有効長）	

NO	作成年度	電力･通信系管路 電力系・通信系管路＜部材表＞
15301	R8	

電力･通信系管路
通信系管路＜部材表＞

【④共用ＦＡ管】

施工部位			標準使用部材	管種	仕様・規格	備考
特殊部際	共用ＦＡ管	起点・終点 共通	ダクトスリーブ	VP	口径：φ150,100	
			片受け曲管 アイブロー曲管 （ＥＢ曲管）	VP	口径：φ150,100 曲率：10mR相当 長さ：L=1000（有効長）	口径：φ150 偏芯100㎜ 行う場合10mR相当は、曲角度5.73°
		終点部	ヤリトリ継手	VP	口径：φ150,100 長さ：L=500（全長）	最終つなぎ込みのやりとり継手
直線部	共用ＦＡ管		片受け直管	VP	口径：φ150,100 長さ：L=5000（有効長）	
			管枕（スペーサ）	―	φ150用 φ100用	標準として2.5mに1箇所設置
曲線部	共用ＦＡ管		片受け曲管 アイブロー曲管 （ＥＢ曲管）	VP	口径：φ150,100 曲率：5mR,10mR相当 長さ：L=1000（有効長）	口径：φ150 10mR相当は、曲角度5.73° 5mR相当は、曲角度11.46°
			曲管レス継手	VP	口径：φ150,100 曲率：5mR 長さ：L=150（有効長）	
			管枕（スペーサ）	―	φ150用 φ100用	標準として1本に1箇所設置

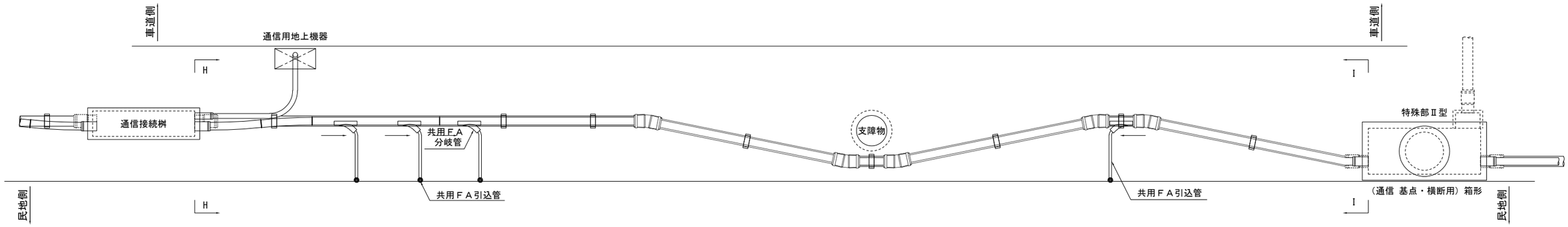
【⑤１管セパレート管】

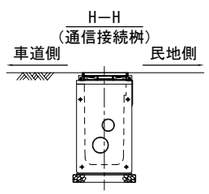
施工部位			標準使用部材	管種	仕様・規格	備考
特殊部際	1管セパレート管	起点・終点 共通	ダクトスリーブ	VP	口径：φ175	
			ロータス管	VP	口径：φ175	端末用固定板付 さや管ダクトスリーブ
			ロータス用セパレータ スライド継手	―	口径：φ175 長さ：L=1160（有効長）	
		終点部	スライド管	VP	口径：φ175 長さ：L=1000（全長）	最終つなぎ込みのやりとり継手
	さや管	起点・終点 共通	端末用さや管	SU	口径：φ30 長さ：L=1100（有効長）	ロータス管挿入専用のさや管
直線部	1管セパレート管		片受け直管	VP	口径：φ175 長さ：L=5000（有効長）	ゴム輪接合
			セパレータS（直管用）	―	口径：φ175 長さ：L=5000（有効長）	セパレータ継手で接続
			管枕（スペーサ）	―	φ175用	標準として2.5mに1箇所設置
	さや管		片受け直管	SU	口径：φ30 長さ：L=5000（有効長）	接着接合
		中間部	ヤリトリ継手	SU	口径：φ30 長さ：L=1500（有効長）	
曲線部	1管セパレート管		片受け曲管 組立式アイブロー曲管 （組立式ＥＢ曲管）	VP	口径：φ175 曲率：5mR,10mR相当 長さ：L=1000（有効長）	10mR相当は、曲角度5.73° 5mR相当は、曲角度11.46°
			セパレータC（曲管用）	―	口径：φ175 長さ：L=1000（有効長）	セパレータ継手で接続
			管枕（スペーサ）	―	φ175用	標準として1本に1箇所設置
	さや管		片受け直管	SU	口径：φ30 長さ：L=5000（有効長）	

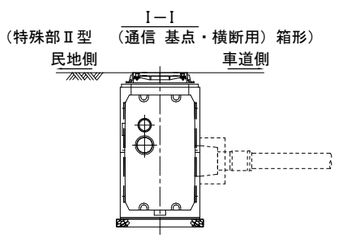
NO	作成年度	電力･通信系管路 通信系管路＜部材表＞
15302	R8	

共用ＦＡ方式標準配置図　S=1/80

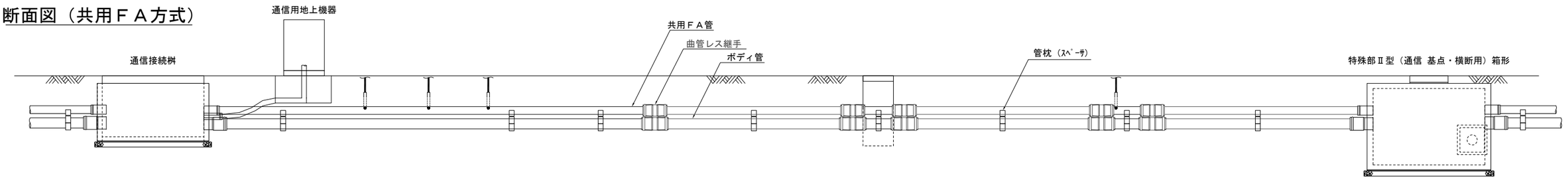
平面図（全体）







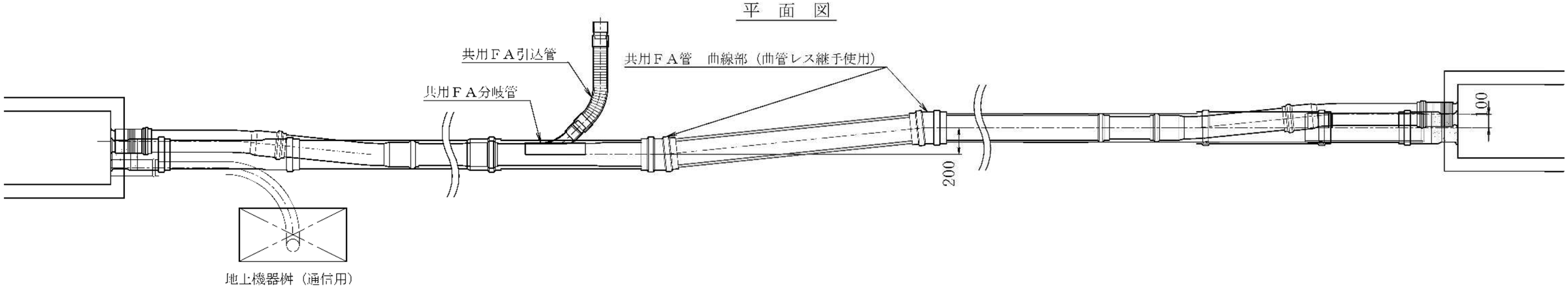
断面図（共用ＦＡ方式）



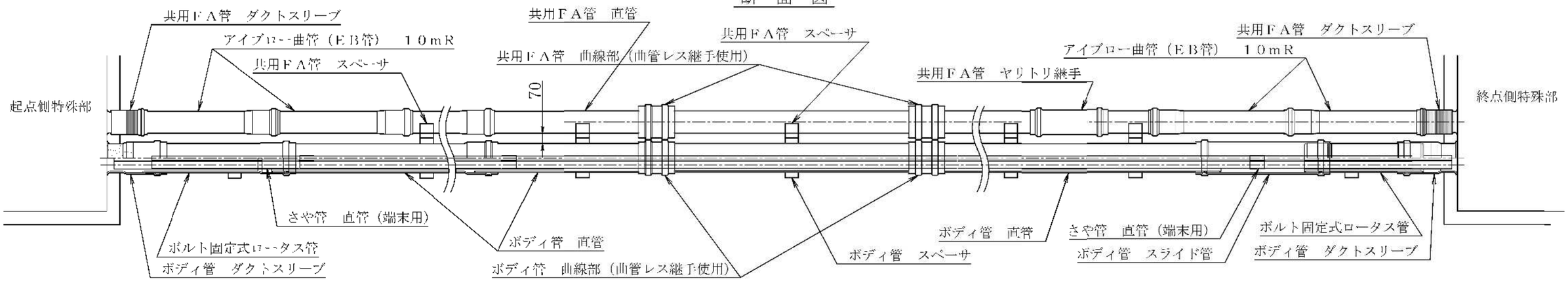
NO	作成年度	共用ＦＡ方式標準配置図
19001	R8	

共用ＦＡ方式一般部標準構成図　S=1/30

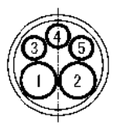
平　面　図



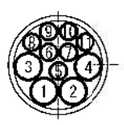
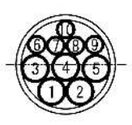
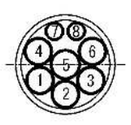
断　面　図



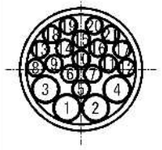
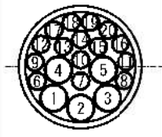
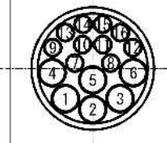
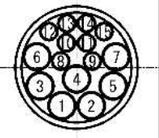
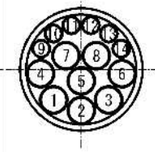
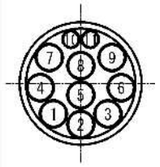
ボディ管φ150とさや管の組合せ

さや管	φ50	2	0
	φ30	3	8
断面図			

ボディ管φ200とさや管の組合せ

さや管	φ50	3	4	5	6
	φ30	9	7	5	2
断面図					

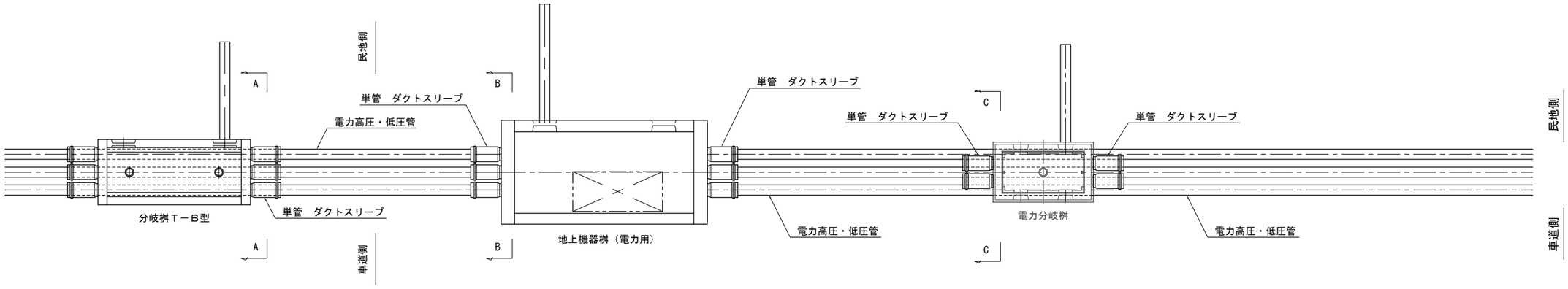
ボディ管φ250とさや管の組合せ

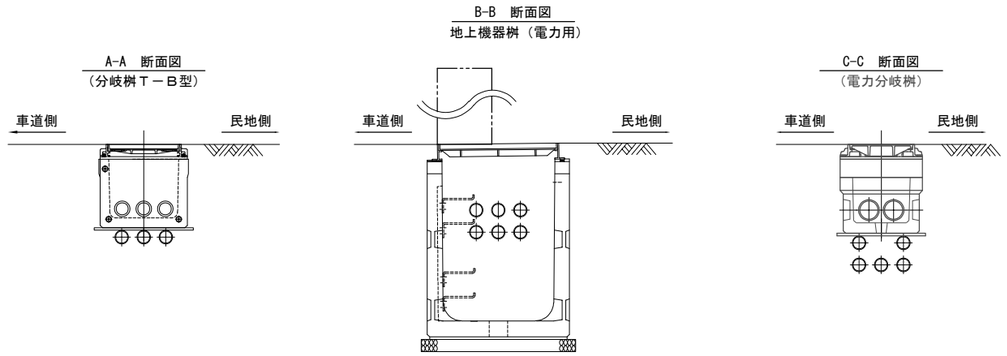
さや管	φ50	4	5	6	7	8	9
	φ30	17	15	10	8	6	2
断面図							

NO	作成年度	共用ＦＡ方式一般部標準構成図
19003	R8	

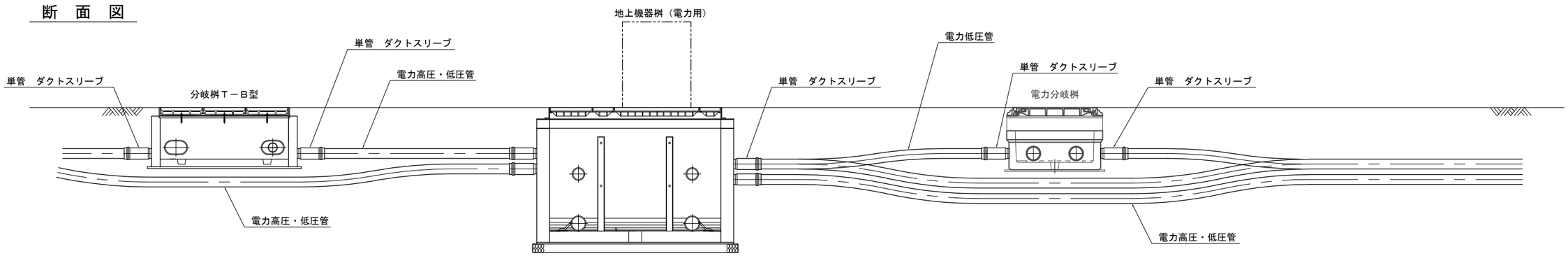
単管路方式(電力) 一般部標準構成図 S=1/50

平面図（全体）





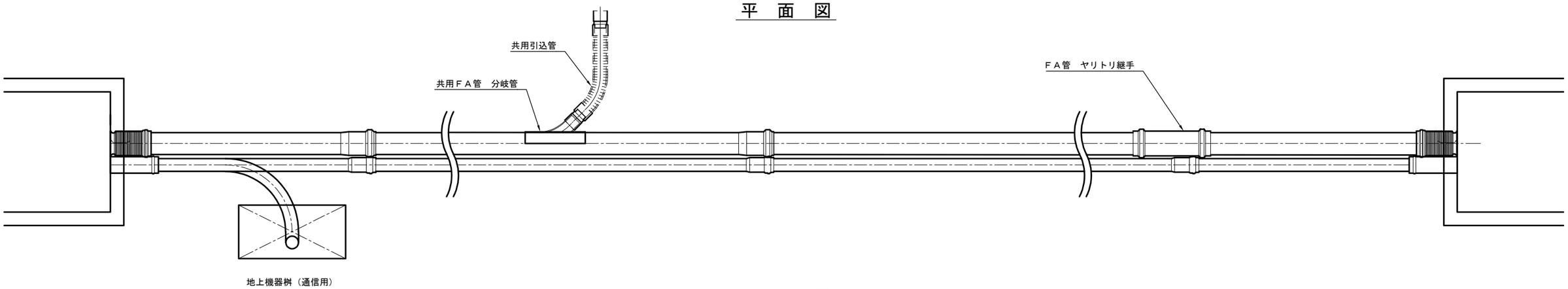
断　面　図



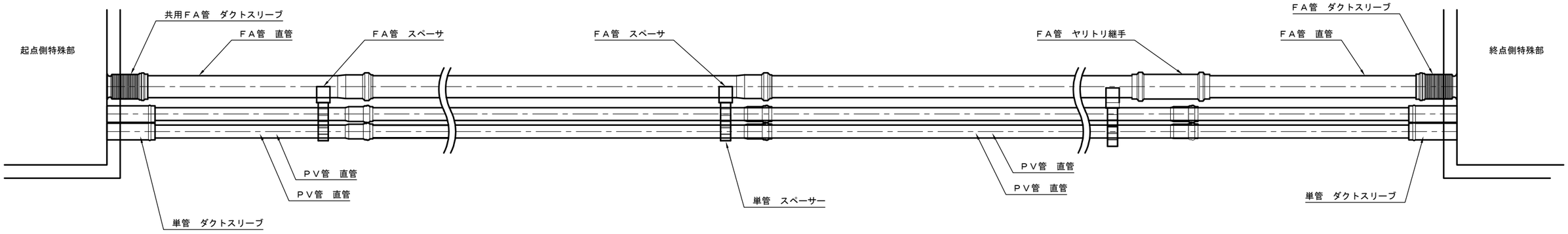
NO	作成年度	単管路方式(電力) 一般部標準構成図
	R8	

単管路方式（通信）　一般部標準構成図　S=1/30

平　面　図

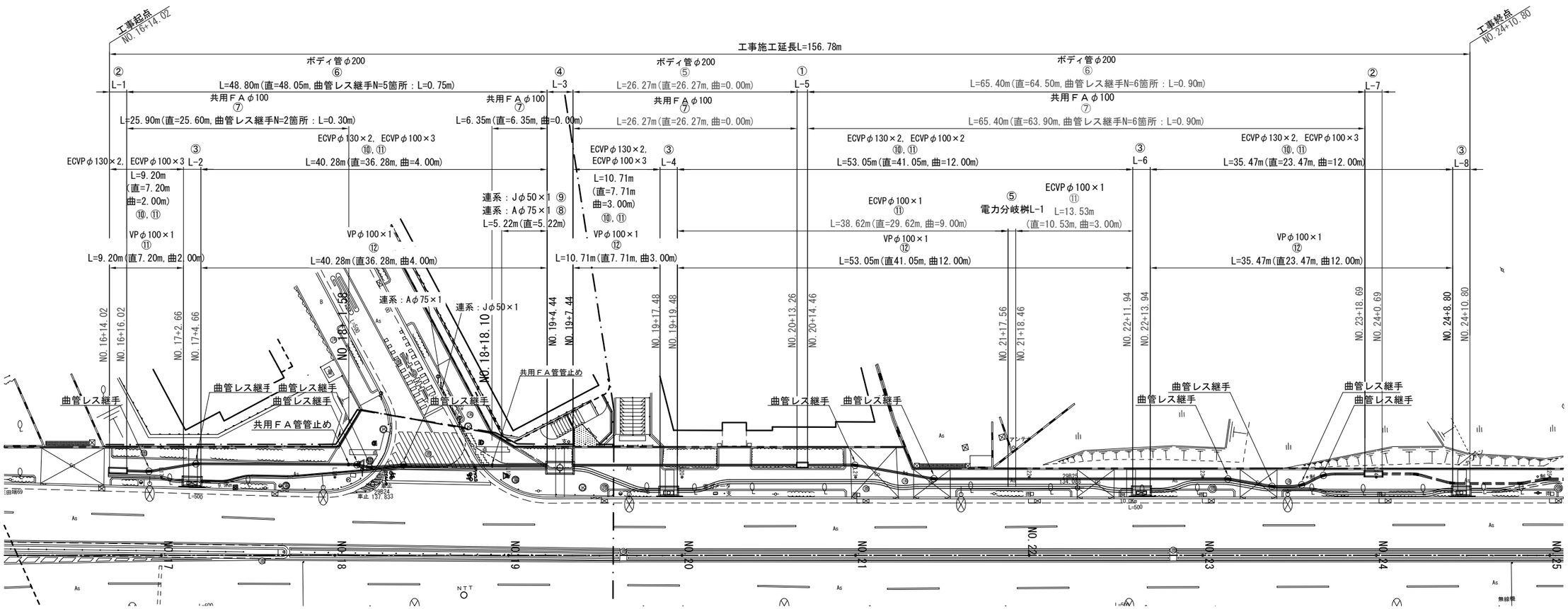


断　面　図



NO	作成年度	単管路方式（通信）　一般部標準構成図
	R8	

電線共同溝平面図　S=1/500



電線共同溝構造物番号一覧表

略称番号	種別	名称	規　格	構造図番号	頁	作成年度	摘　要
①	通信接続桝	(小)（歩車道兼用）	600×1100×1200	12101	41	R8	
	鋳鉄蓋 通信接続桝用	(大)（歩道-As舗装）	600×1200用	14703	92	R8	
②	通信接続桝	(大)（歩道用）	500×1050×2000	12102	42	R8	
	鋳鉄蓋 通信接続桝用	(大)（歩道-As舗装）	500×2000用	14702	92	R8	
③	特殊部Ⅱ型(電力用)	直上1基用	900×1400×2000	11306	19	R8	
	地上機器用鋳鉄蓋	直上1基用(歩道-As舗装)	900×2000	14311	83	R8	
④	特殊部Ⅰ型	箱形	1200×1600×3000	13105	48	R8	蓋高調整h=200
	鋳鉄丸蓋	歩道用		14801	94	R8	
⑤	電力桝	電力分岐桝（小）	450×370×900	11111	01	R8	
	鋳鉄蓋 分岐桝用	(小)用 (歩車道兼用-As舗装)	450×900	14503	85	R8	

※ 旗上げ延長は継手等の控除前延長とする
L＝控除前(直＝控除前、曲＝控除前)

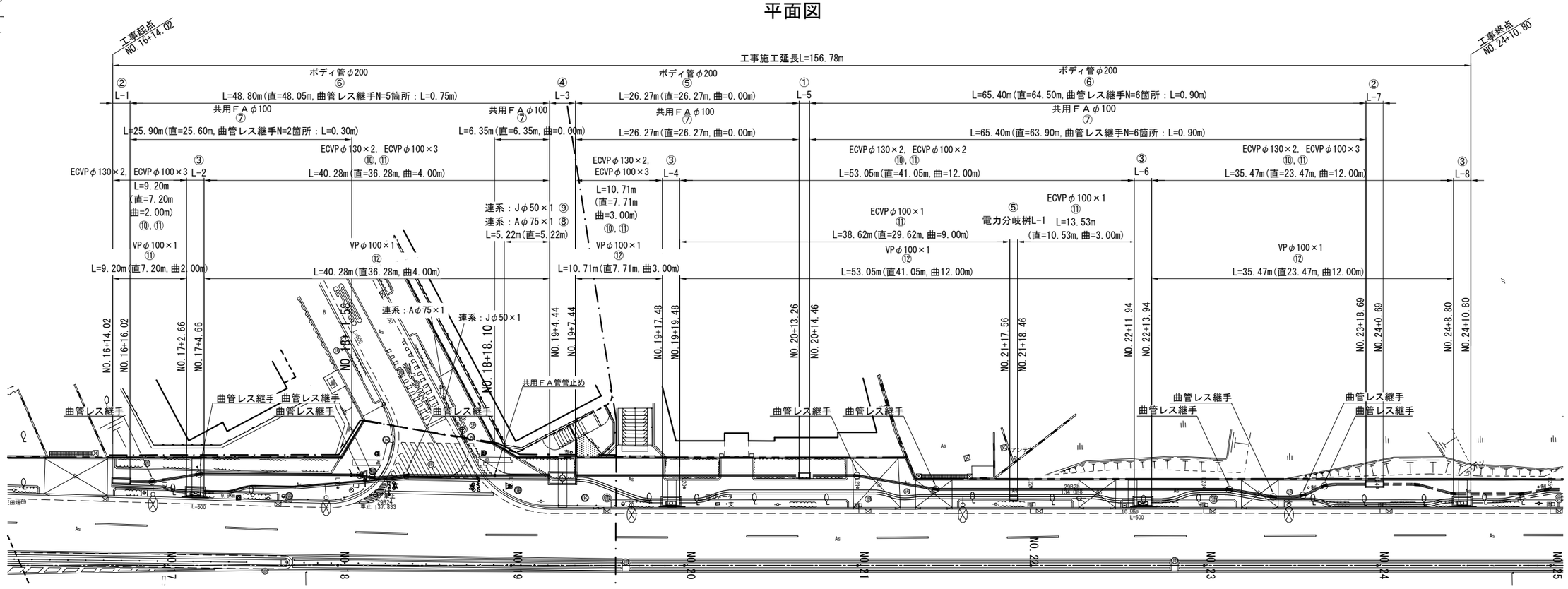
略称番号	名称	規　格	構造図番号	頁	作成年度	摘　要
⑥	ボディ管(直管)	VPφ200	15203	104	R8	
	ボディ管(曲管レス継手)	VPφ200	15203	104	R8	
	インサート付ダクトスリーブ	φ200	15203	104	R8	
	ボルト固定式ロータス管	φ200	15203	104	R8	
	スライド管	VPφ200	15203	104	R8	
	ボディ管管枕	VPφ200	15206	107	R8	2.5mピッチ(曲管1.0m)
⑦	共用ＦＡ管(直管)	VPφ100	15202	103	R8	
	共用ＦＡ管(曲管レス継手)	VPφ100	15202	103	R8	
	ダクトスリーブ	VPφ100	15202	103	R8	
	ヤリトリ継手	VPφ100	15202	103	R8	
	共用ＦＡ管管枕	VPφ100	15206	107	R8	2.5mピッチ(曲管1.0m)
⑧	ＰＶ管(直管)	PVφ75	15207	108	R8	
	ダクトスリーブ	PVφ75	15207	108	R8	
	管枕	PVφ75	15206	107	R8	2.5mピッチ
⑨	ＰＶ管(直管)	PVφ50	15207	108	R8	
	ダクトスリーブ	PVφ50	15207	108	R8	
	管枕	PVφ50	15206	107	R8	2.5mピッチ

略称番号	名称	規　格	構造図番号	頁	作成年度	摘　要
⑩	ＥＣＶＰ管(直管)	ECVPφ130	15101	97	R8	
	ＥＣＶＰ管(曲管)	ECVPφ130	15101	97	R8	
	ダクトスリーブ	CCVPφ130	15101	97	R8	
	ヤリトリ継手	CCVPφ130	15101	97	R8	
	管枕	ECVPφ130	15103	100	R8	2.5mピッチ(曲管1.0m)
⑪	ＥＣＶＰ管(直管)	ECVPφ100	15101	97	R8	
	ＥＣＶＰ管(曲管)	ECVPφ100	15101	97	R8	
	ダクトスリーブ	CCVPφ100	15101	97	R8	
	ヤリトリ継手	CCVPφ100	15101	97	R8	
	管枕	ECVPφ100	15103	100	R8	2.5mピッチ(曲管1.0m)
⑫	電力保安通信管(直管)	VPφ100	15201	102	R8	
	電力保安通信管(曲管)	VPφ100	15201	102	R8	
	ダクトスリーブ	VPφ100	15201	102	R8	
	ヤリトリ継手	VPφ100	15201	102	R8	
	管枕	VPφ100	15206	107	R8	2.5mピッチ(曲管1.0m)

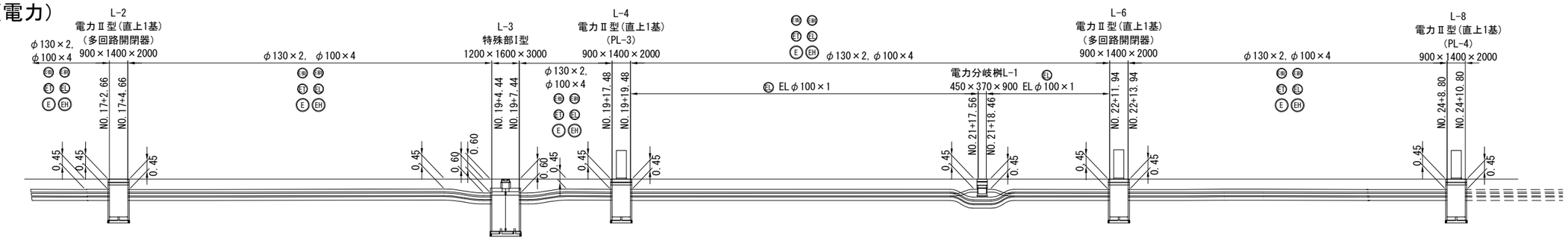
NO	作成年度	電線共同溝平面図
—	R8	

電線共同溝平面縦断図　S=1/500

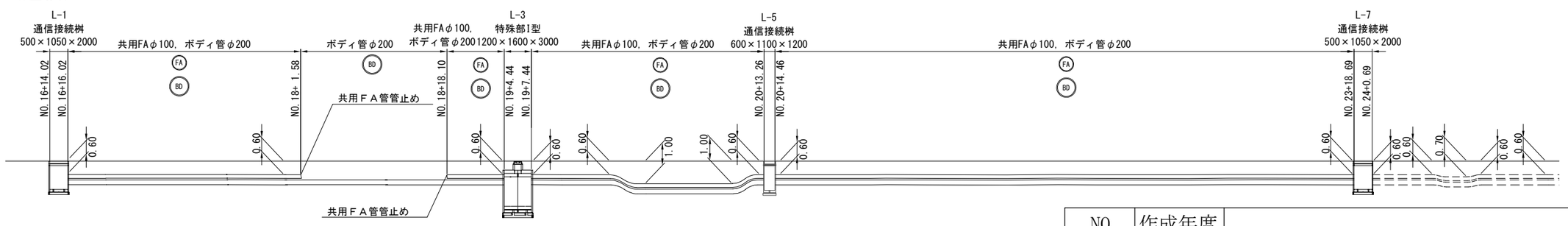
平面図



縦断図（電力）



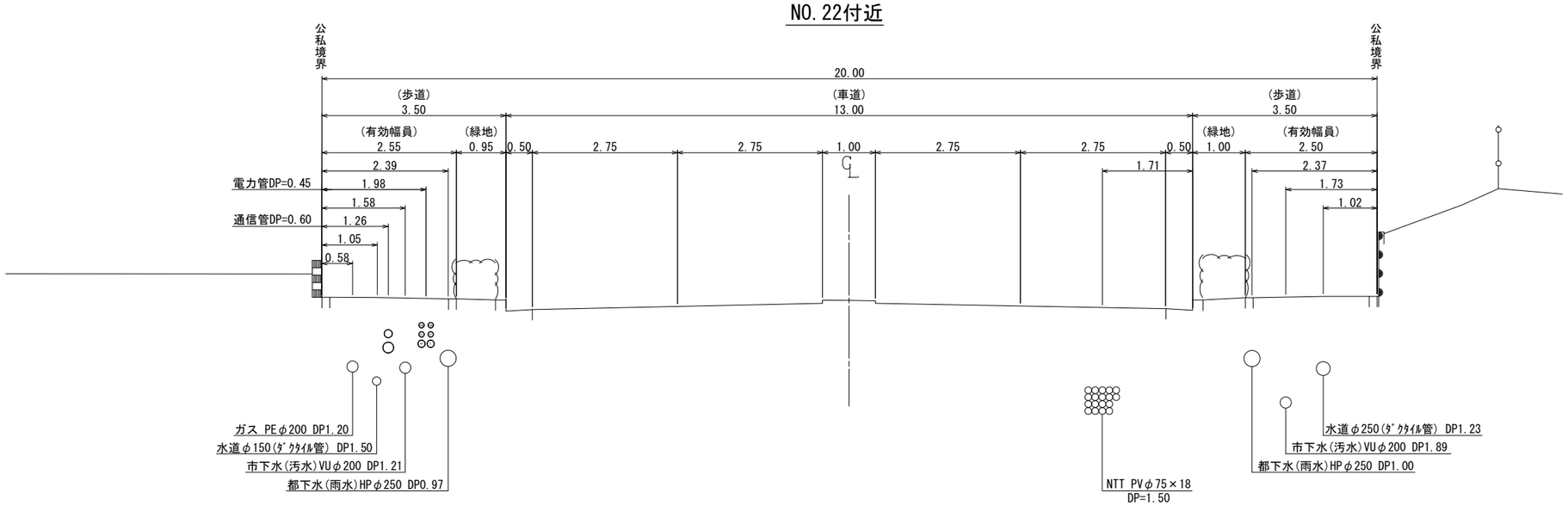
縦断図（通信）



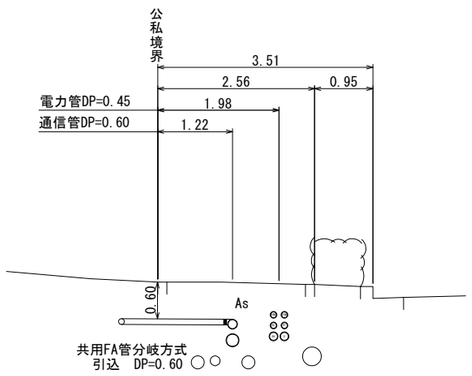
NO	作成年度	電線共同溝計画平面縦断図
—	R8	

標準横断図　S=1/100

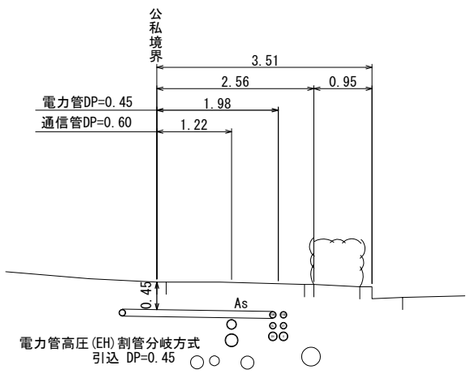
NO.22付近



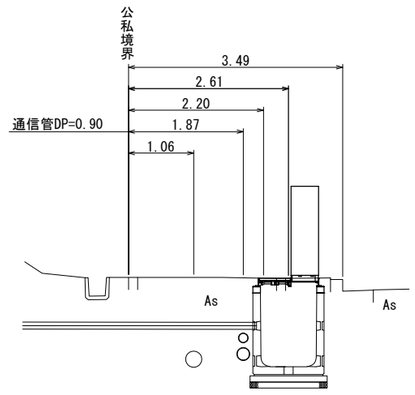
通信引込部



電力(高圧)引込部



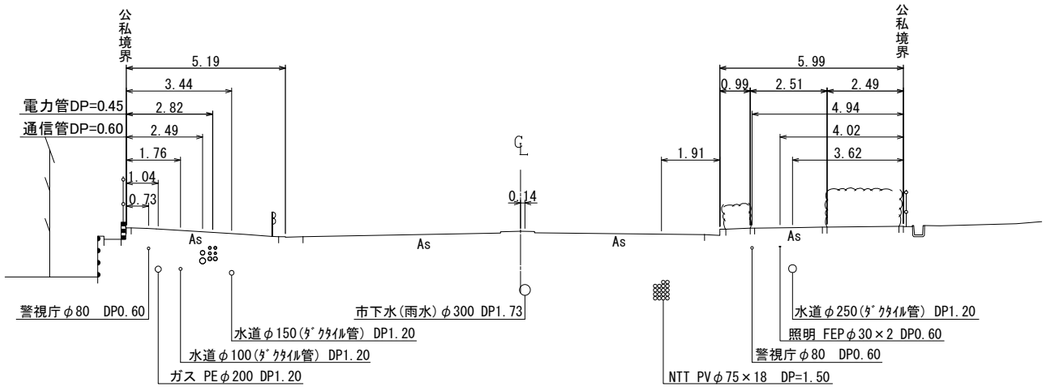
電力(低圧)引込部



NO	作成年度	標準横断図
—	R8	

横断図(1/2)　S=1/200

NO.19



NO.18

凡例

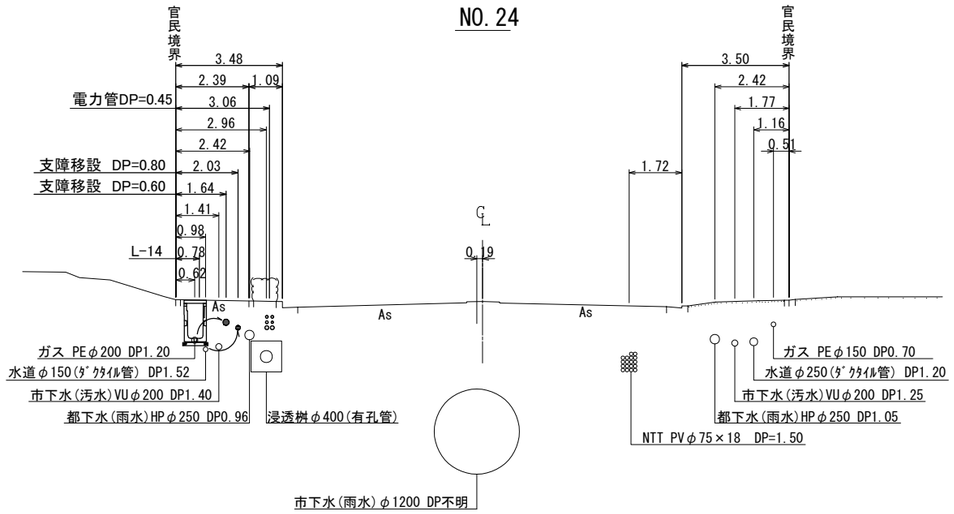
電力管	通信管
○○ ○○○	○ ○

※各測点で断面を掲載すること

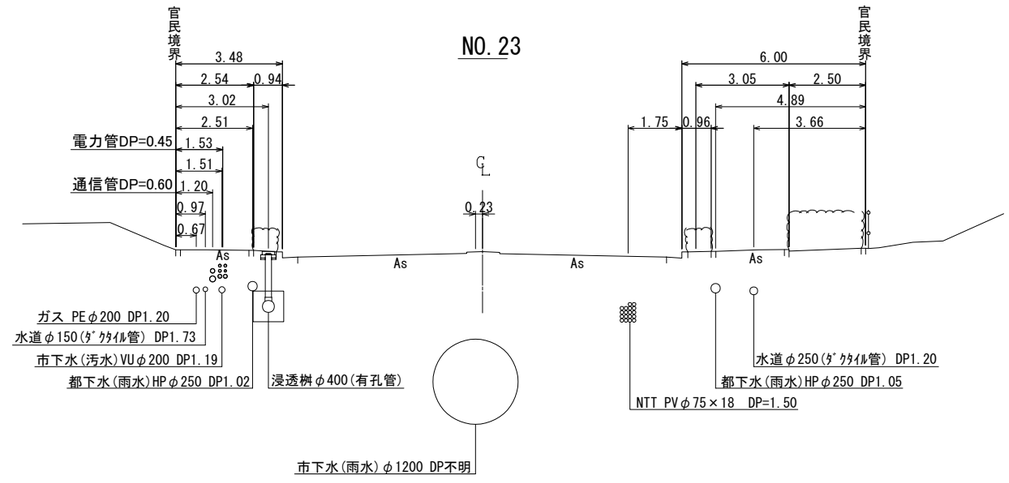
NO	作成年度	横断図(1/2)
—	R8	

横断図(2/2)　S=1/200

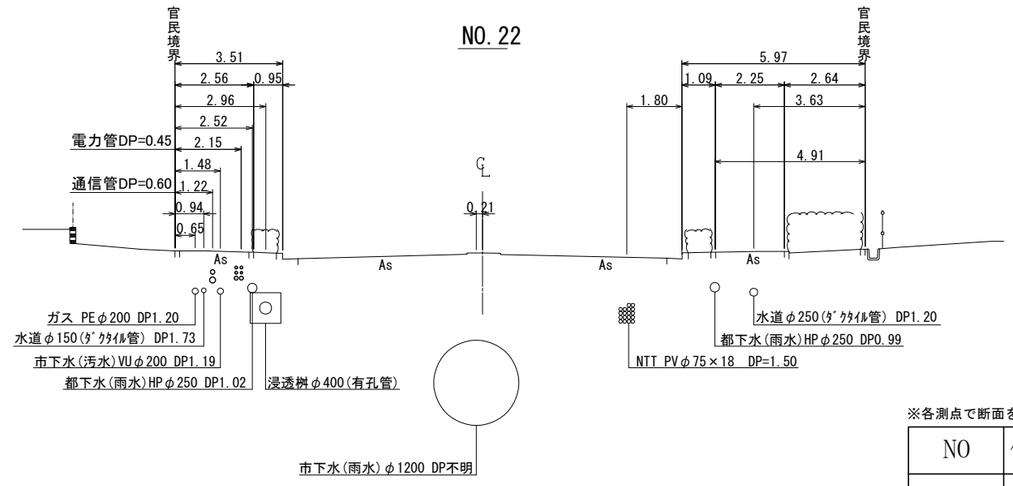
NO.24



NO.23



NO.22



凡例

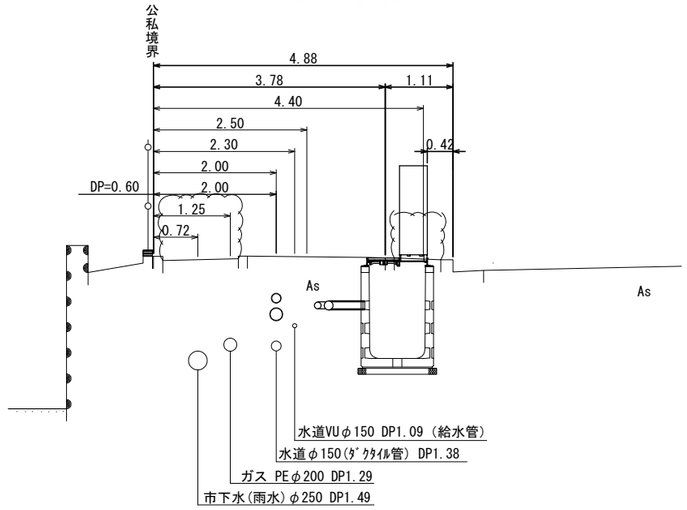
電力管	通信管
⁘	○

※各測点で断面を掲載すること

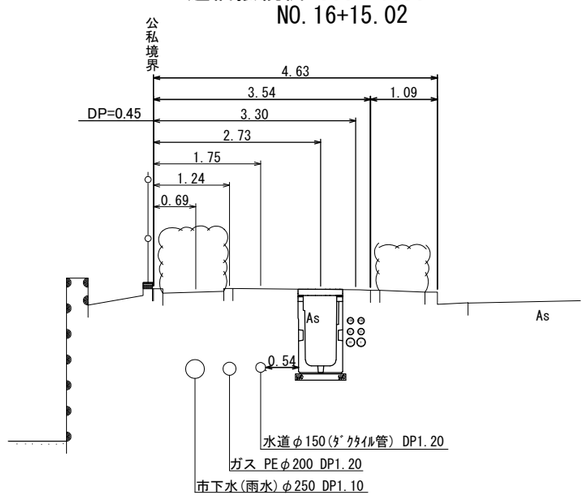
NO	作成年度	横断図(2/2)
—	R8	

特殊部横断図(1/2)　S=1/50

特殊部番号：L-2
電力Ⅱ型(直上1基)　900×1400×2000
NO.17+3.66



特殊部番号：L-1
通信接続桝 500×1050×2000
NO.16+15.02



凡例

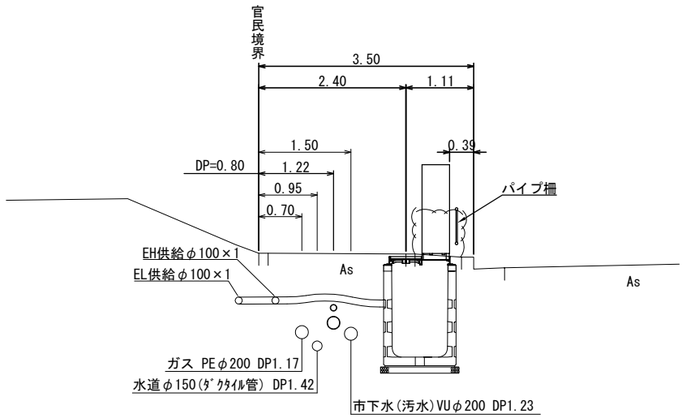
電力管	通信管
○○ ○○	○ ○

※各特殊部毎に断面を作成すること

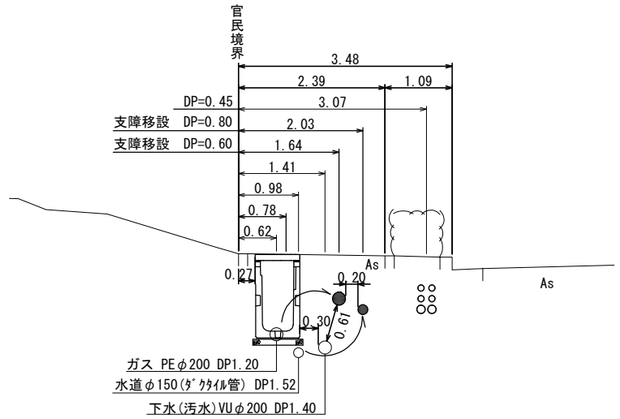
NO	作成年度	
—	R8	特殊部横断図(1/2)

特殊部横断図(2/2)　S=1/100

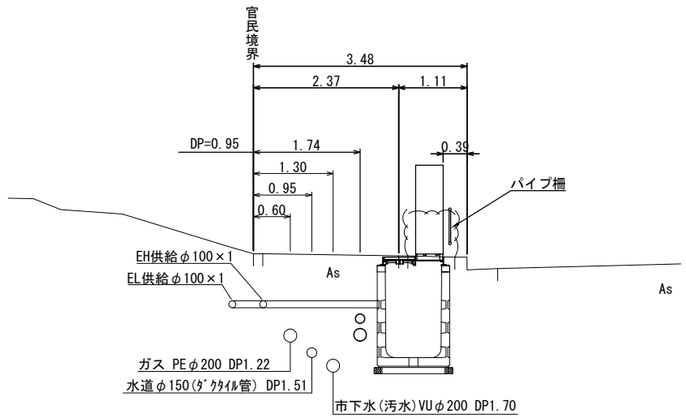
特殊部番号：L-13
地上機器桝(浅)(直上1基)　900×480×2200
NO.22+13.04



特殊部番号：L-14
通信接続桝 500×1050×2000
NO.23+19.69



特殊部番号：L-15
地上機器桝(浅)(直上1基)　900×480×2200
NO.24+9.90



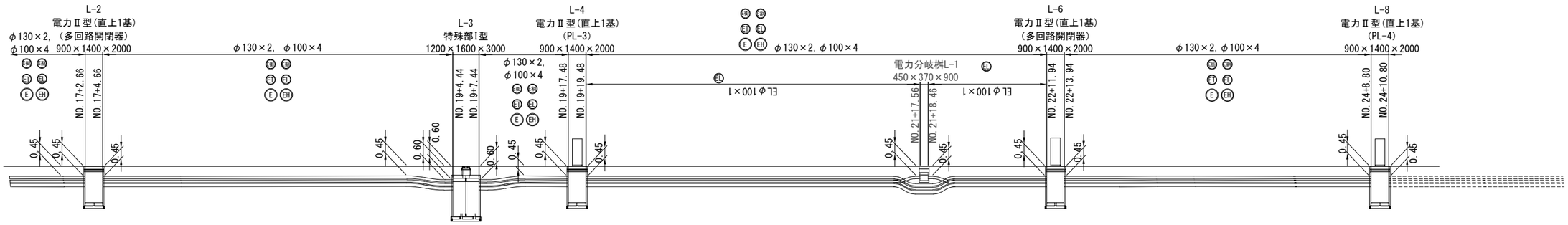
凡例

電力管	通信管

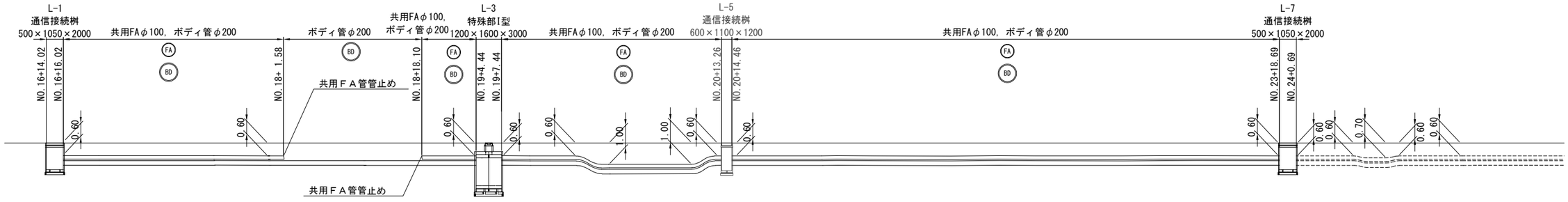
NO	作成年度	特殊部横断図(2/2)
—	R8	

縦　断　図　S=1:500
（電力・通信）

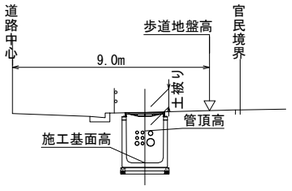
縦断図（電力側）



縦断図（通信側）



凡例



NO	作成年度	縦断図（電力・通信）
—	R8	

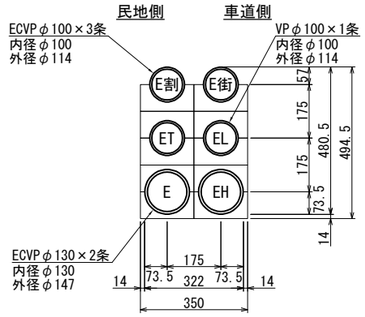
収容ケーブル規格及び収容条件表

企業別		ケーブル種別		記号	ケーブル条数	種別	生ケーブル		【管路部】				【特殊部】 分岐部・接続部		備考
							径：D	最小曲げ半径（MM）	管種	呼び径（外径）	条数	最小曲げ半径（導通）	棚数	棚の位置	
①	道路管理者用	東京都		R	－－	光	－－	－－	ボディ内 SU	φ50	1	5.0MR	1	民地側	
②	一般電気事業者	高圧	幹線	EH	1	CVT250	78	632	ECVP	φ130	1	5.0MR	4	車道側	
			予備	EH予	1	CVT250	78	632		φ130	1				
			割管	E割	1	CVT60	52	450		φ100	1				
		低圧	幹線	EL	1	CVQ－150	52	416		φ100	1				
			照明	E街	1	3SV38	29	230			1				
		通信	保安通信	ET	4	メタル・光	24・36	240・540	VP	φ100	1				
③	第一種電気通信事業者			T	2	4－400CJF	33.0	300	ボディ内 SU	φ50	2	5.0MR	3	民地側	
					2	200SM	16.0			φ30	2				
④	K 社			KD	1	200SM	16.0	300	ボディ内 SU	φ30	1	5.0MR	1	民地側	
⑤	J 社			J	1	光300C	21.0	160	ボディ内 SU	φ50	1	5.0MR	1	民地側	
					1	メタル同軸	15.3	210		φ30	1				
⑥	A 社			A	1	メタル同軸	15.3	210	ボディ内 SU	φ30	1	5.0MR	1	民地側	
⑦	メンテナンス管			M	1	－－	－－	－－	ボディ内 SU	φ50	1	5.0MR	1	民地側	（K 社・J 社）

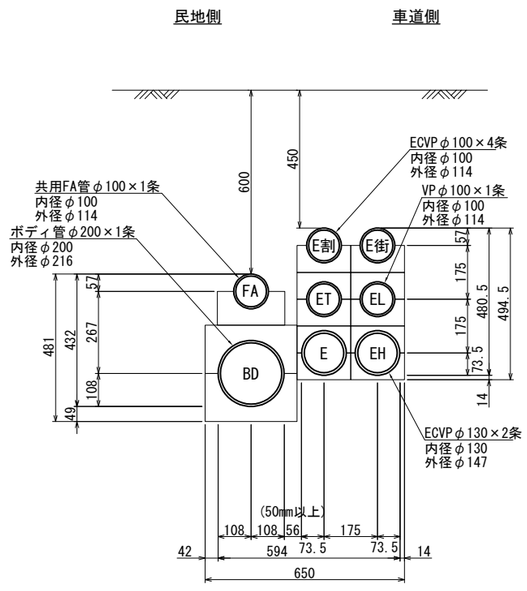
NO	作成年度	収容ケーブル規格及び収容条件表
－	R8	

管路収容形態図　S=1/20

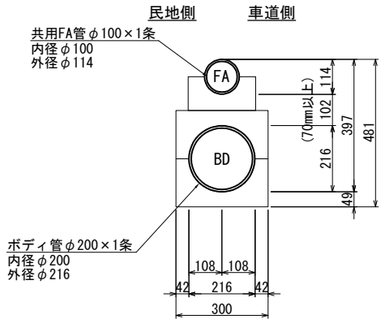
φ130×2, φ100×4
（単管路）



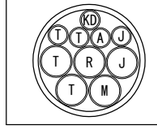
標準配列図



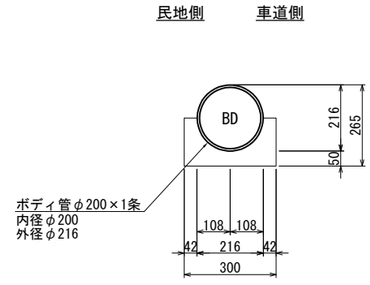
共用ＦＡ，ボディ管



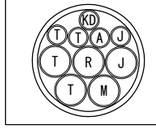
ボディ管内収容図

断面図		さや管条数		外付単管	
民地側―車道側	記号	企業者名	φ50	φ30	φ50	φ75
	T	Ｔ社	2	2		
	KD	Ｋ社	－	1		
	J	Ｊ社	1	1		
	A	Ａ社	－	1		
	R	道路管理者	1	－		
	M	メンテナンス管(T,KD)	1	－		
		合　計	5	5		

ボディ管



ボディ管内収容図

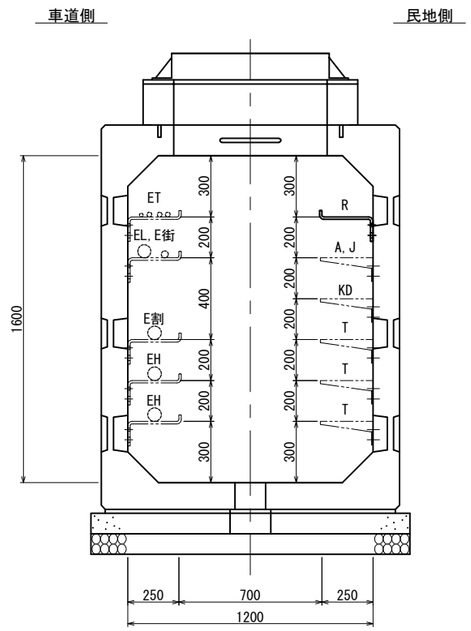
断面図		さや管条数		外付単管	
民地側―車道側	記号	企業者名	φ50	φ30	φ50	φ75
	T	Ｔ社	2	2		
	KD	Ｋ社	－	1		
	J	Ｊ社	1	1		
	A	Ａ社	－	1		
	R	道路管理者	1	－		
	M	メンテナンス管(T,KD)	1	－		
		合　計	5	5		

※メンテナンス管を要望した企業名が　判るように記載すること

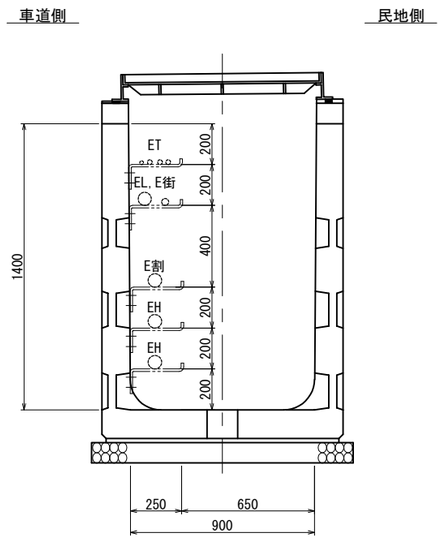
NO	作成年度	管路収容形態図
－	R8	

特殊部収容形態図　S=1/30

特殊部Ⅰ型
(1200×1600)



電力Ⅱ型
(900×1400)



凡 例

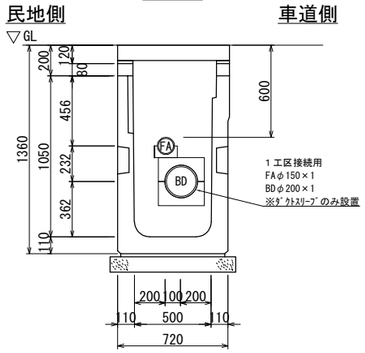
記号	企業者名
E	東京電力
ET	東京電力(通信系)
T	T　社
KD	K　社
J	J　社
A	A　社
R	道路管理者

NO	作成年度	特殊部収容形態図
—	R8	

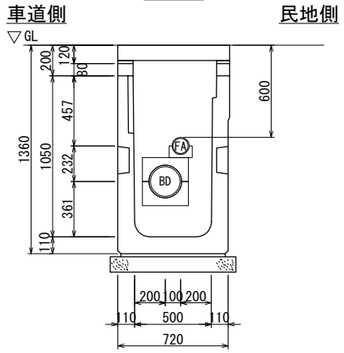
端壁構造図(1/2)　S=1/40

L-1
通信接続桝
500×1050×2000

起点側



終点側



ダクトスリーブ数量

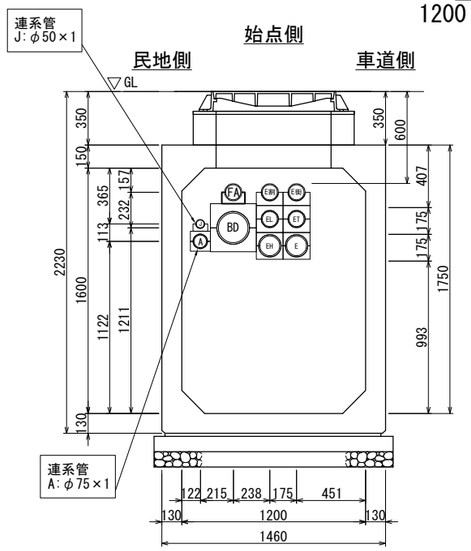
種類	管径	本数
共用FA	φ100	1
ボディ	φ200	1

ダクトスリーブ数量

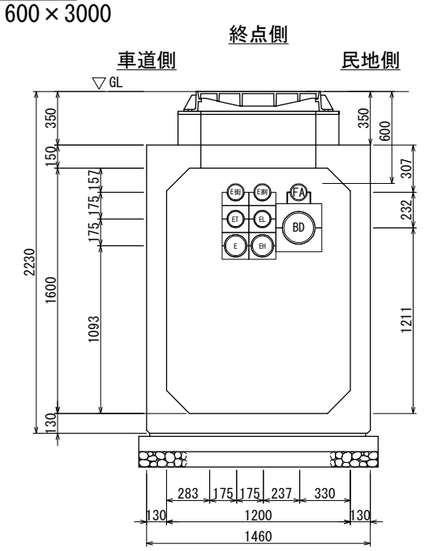
種類	管径	本数
共用FA	φ100	1
ボディ	φ200	1

L-3
特殊部Ⅰ型
1200×1600×3000

始点側



終点側

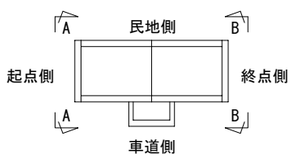


ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
ECVP	φ130	2
ECVP	φ100	4
PV	φ100	1
共用FA	φ100	1
ボディ	φ200	1
PV	φ50	1
PV	φ75	1

ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
ECVP	φ130	2
ECVP	φ100	3
PV	φ75	1
共用FA	φ150	1
ボディ	φ200	1



◯ :本管
◯ :連系管（電力）
◯ :連系管（通信）
◯ :引込管（電力）
◯ :引込管（通信）

企業名	記号
東京電力	E
T　社	T
J　社	J
K　社	KD
A　社	A
道路管理者	R

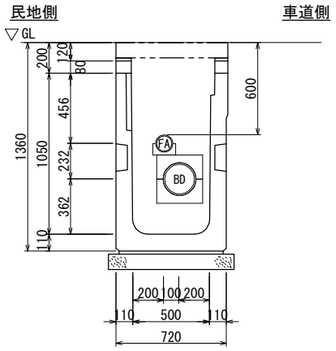
※各特殊部毎に断面を作成すること

NO	作成年度	端壁構造図(1/2)
—	R8	

端壁構造図(2/2)　S=1/40

L-12
通信接続桝
500×1050×2000

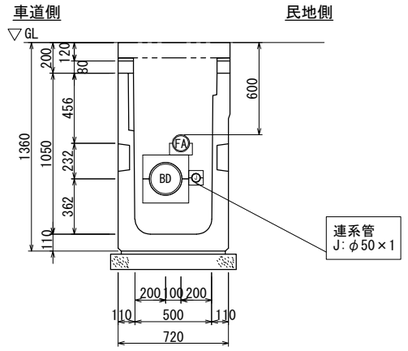
起点側



ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
共用FA	φ100	1
ボディ	φ200	1

終点側

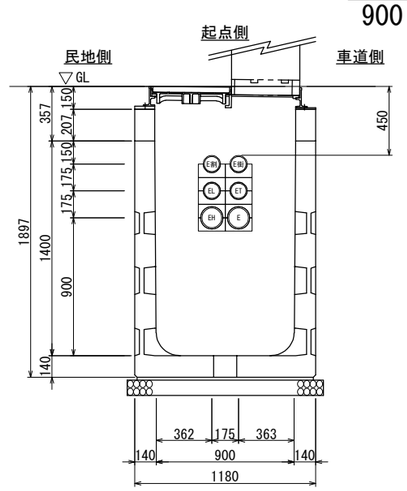


ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
共用FA	φ100	1
ボディ	φ200	1
PV	φ50	1

L-13
電力Ⅱ型(直上1基)
900×1400×2000

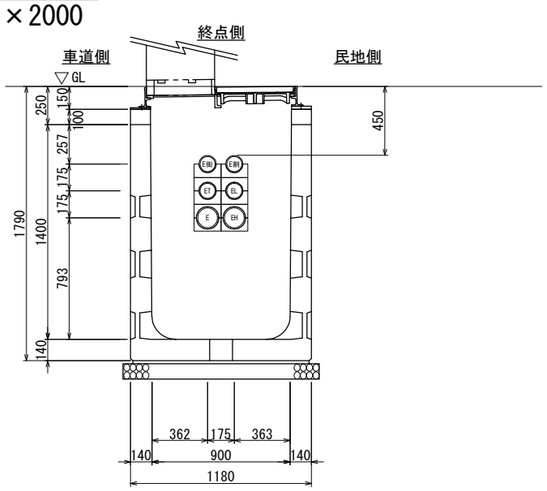
起点側



ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
ECVP	φ130	2
ECVP	φ100	3
PV	φ100	1

終点側

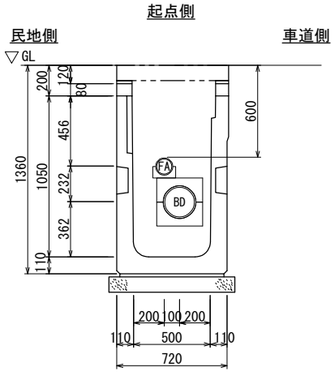


ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
ECVP	φ130	2
ECVP	φ100	3
PV	φ100	1

L-14
通信接続桝
500×1050×2000

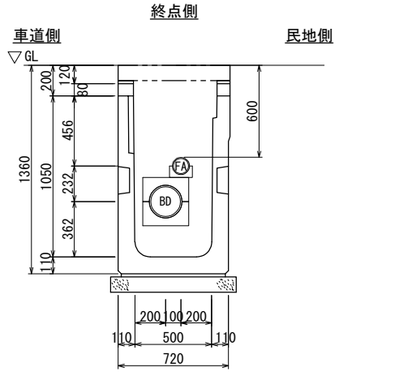
起点側



ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
共用FA	φ100	1
ボディ	φ200	1

終点側

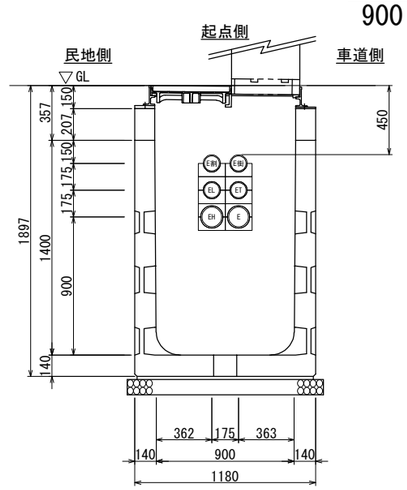


ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
共用FA	φ100	1
ボディ	φ200	1

L-15
電力Ⅱ型(直上1基)
900×1400×2000

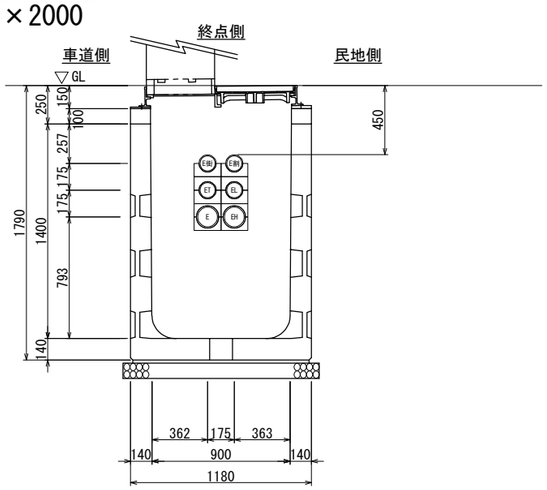
起点側



ダクトスリーブ数量

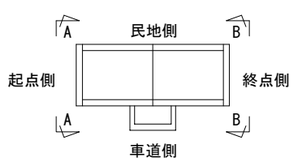
種類	管径	本数
ECVP	φ130	2
ECVP	φ100	3
PV	φ100	1

終点側



ダクトスリーブ数量

種類	管径	本数
ECVP	φ130	2
ECVP	φ100	3
PV	φ100	1



- ◯ :本管
- ◯ :連系管（電力）
- ◯ :連系管（通信）
- ◯ :引込管（電力）
- ◯ :引込管（通信）

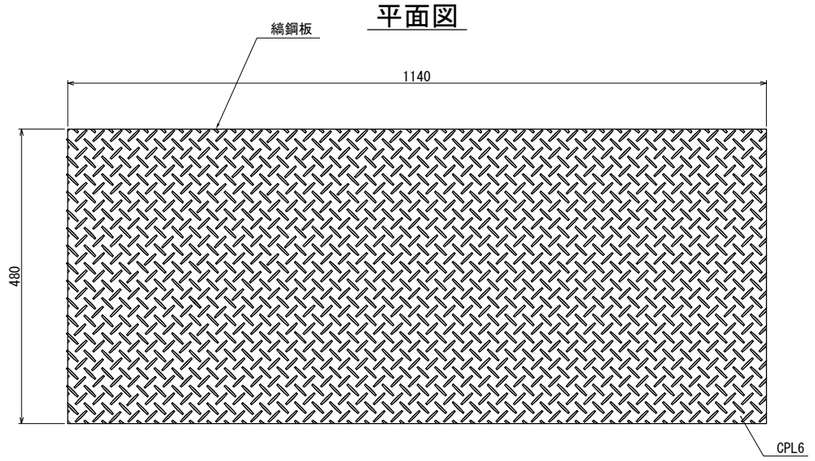
企業名	記号
東京電力	E
T　社	T
J　社	J
K　社	KD
A　社	A
道路管理者	R

NO	作成年度	端壁構造図(2/2)
—	R8	

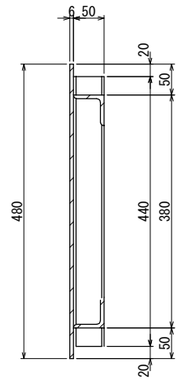
仮蓋（地上機器桝 直上1・2基用）構造図　S=1/10

縞鋼板タイプ

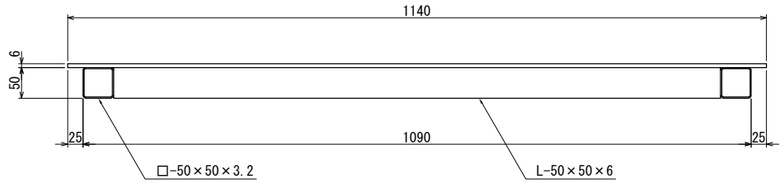
平面図



断面図



側面図

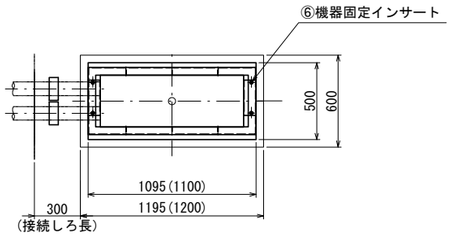


※仮蓋は強度上、車両の乗り入れを考慮しない。

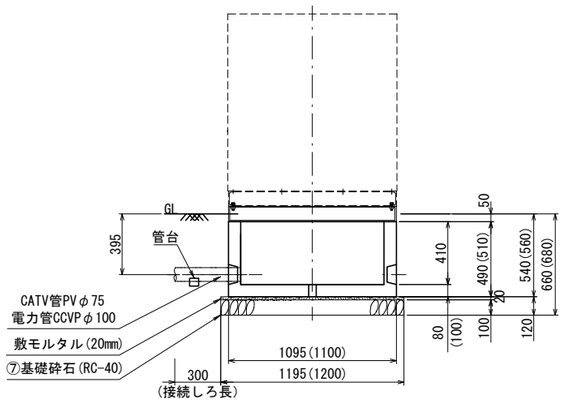
NO	作成年度	仮蓋（地上機器桝 直上1・2基用）構造図
20401	R8	

地上機器桝（通信用）　Ⅰ型　構造図　S=1/40
500×490×1095

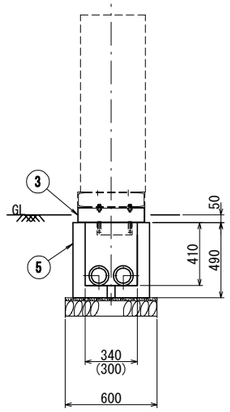
平面図



正面図

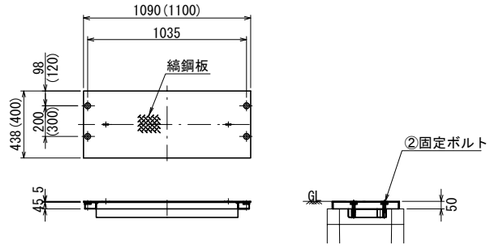


側面図

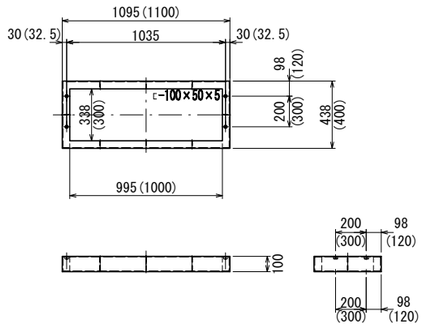


※( )内寸法は，地上機器桝(通信用) 大 を示す。

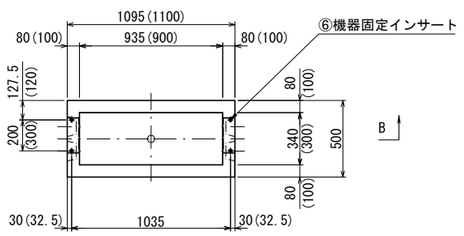
①仮蓋



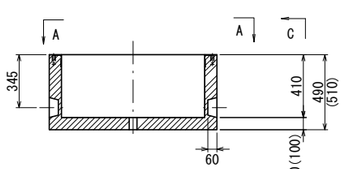
③機器設置ブロック



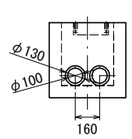
⑤本体



A-A　矢視図



B-B　矢視図



C-C　矢視図

設計条件

設計荷重	活荷重	T-8 後輪一輪　32kN
	衝　撃	側壁：i=0　底版：i=0.1
構造形式		工場製品　鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法（幅×高さ）		340×410(300×410)
土の単位重量		γ=19.0 kN/m^3
土圧係数		Ka=0.251
使用材料	コンクリート	設計基準強度f'ck=30 N/mm^{2}以上
	鉄筋	SD295
参考質量（1個当り）	本体（頂版含む）	345kg（420kg）
	仮蓋	38kg（31kg）
	機器設置ブロック	23kg（26kg）

※内空寸法および参考質量の( )内数値は、地上機器桝(通信用) 大 を表す。

材料表

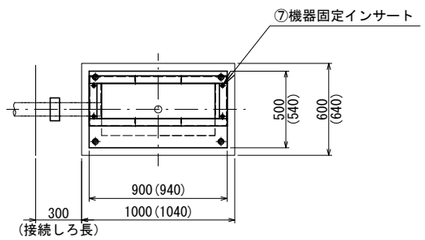
部番	種別		規格	数量
1	仮蓋		SS400 HDZT63	1 個
2	固定ボルト（W付）		SS400　M16	4 個
3	機器設置ブロック		SUS	1 個
4	固定ボルト（W付）		SUS　M16	4 個
5	本体		RC　500×490×1095（500×510×1100）	1 個
6	機器固定インサート		SUS304　M16	4 個
7	基礎工	敷モルタル	1:3	0.014m^3
		基礎砕石	RC-40	0.072m^3

※材料表の( )内数値は、地上機器桝(通信用) 大 を表す。

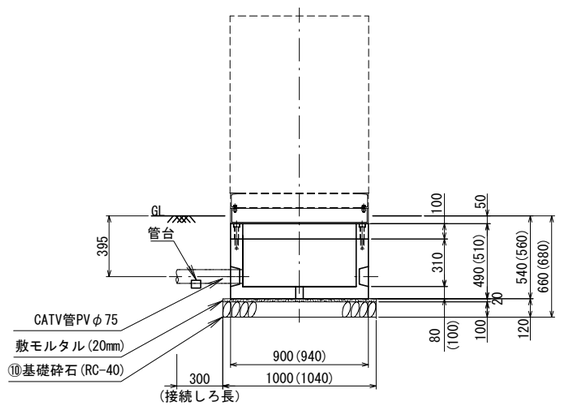
NO	作成年度	地上機器桝（通信用）Ⅰ型　構造図 500×490×1095
20501	R8	

地上機器桝（通信用）　Ⅱ型　構造図　S=1/40
500×490×900

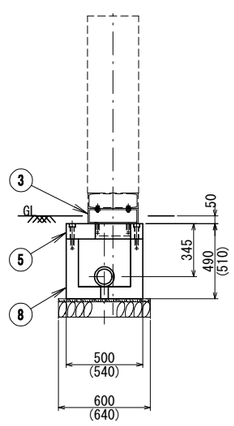
平面図



正面図

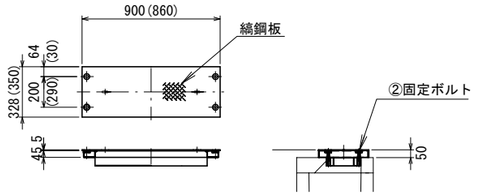


側面図

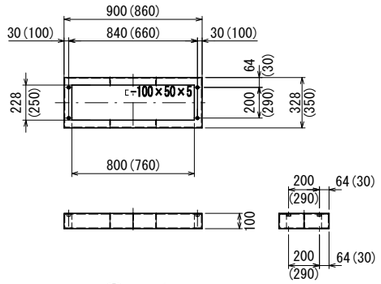


※( )内寸法は，地上機器桝(通信用) 中 を示す。

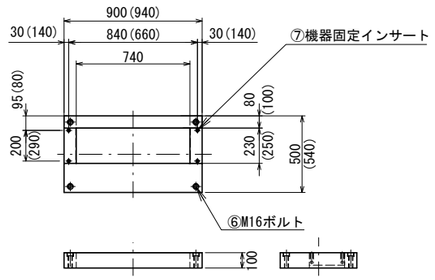
①仮蓋



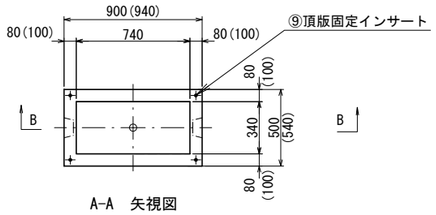
③機器設置ブロック



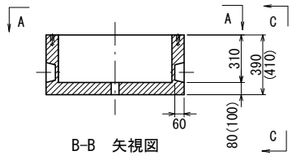
⑤頂版



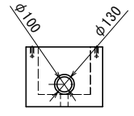
⑧本体



A-A　矢視図



B-B　矢視図



C-C　矢視図

設計条件

設計荷重	活荷重	T-8 後輪一輪　32kN
	衝　撃	側壁：i=0　底版：i=0.1
構造形式		工場製品　鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法（幅×高さ）		340×410
土の単位重量		γ=19.0 kN/m^3
土圧係数		Ka=0.251
使用材料	コンクリート	設計基準強度f'ck=30 N/mm^{2}以上
	鉄筋	SD295
参考質量（1個当り）	本体（頂版含む）	315kg（410kg）
	仮蓋	27kg（22kg）
	機器設置ブロック	20kg（21kg）

※参考質量の( )内数値は、地上機器桝(通信用) 中 を表す。

材料表

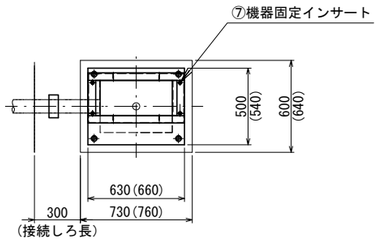
部番	種別		規格	数量
1	仮蓋		SS400 HDZT63	1 個
2	固定ボルト（W付）		SS400　M16（M12）	4 個
3	機器設置ブロック		SUS	1 個
4	固定ボルト（W付）		SUS　M16（M12）	4 個
5	頂版		RC	1 個
6	固定ボルト（W付・HDZ）		SS400　M16	4 個
7	機器固定インサート		SUS304　M16（M12）	4 個
8	本体		RC　500×390×900（540×410×940）	1 個
9	頂版固定インサート		SUS304　M16	4 個
10	基礎工	敷モルタル	1:3	0.012（0.013）m^3
		基礎砕石	RC-40	0.060（0.067）m^3

※材料表の( )内数値は、地上機器桝(通信用) 中 を表す。

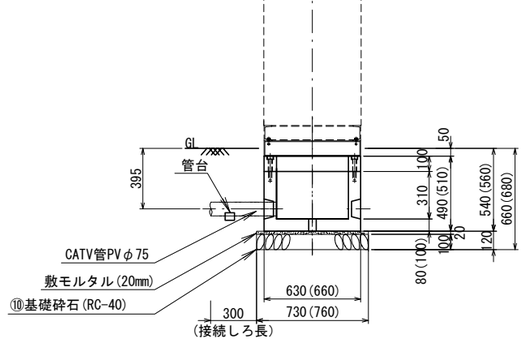
NO	作成年度	地上機器桝（通信用）　Ⅱ型　構造図 500×490×900
20502	R8	

地上機器桝（通信用）　Ⅲ型　構造図　S=1/40
500×490×630

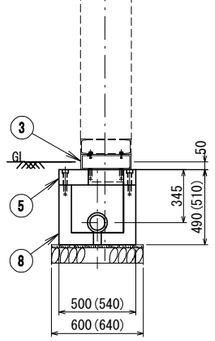
平面図



正面図

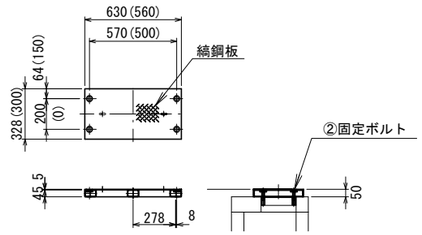


側面図

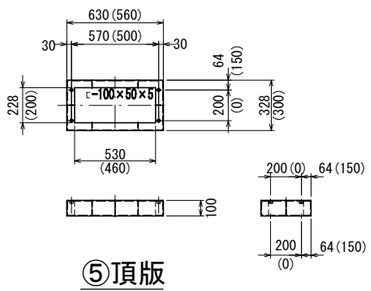


※( )内寸法は，地上機器桝(通信用) 小 を示す。

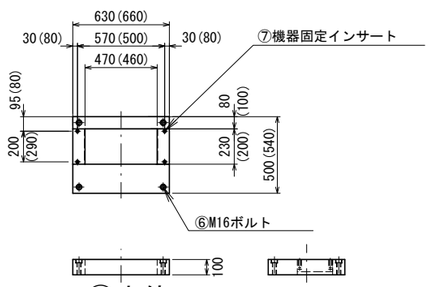
①仮蓋



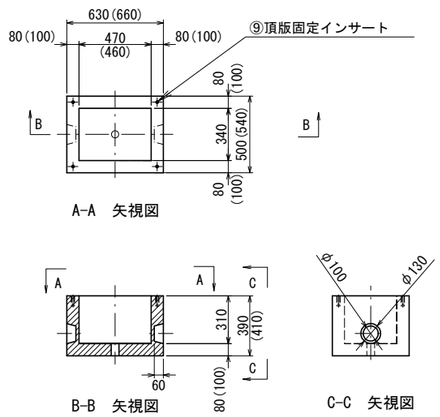
③機器設置ブロック



⑤頂版



⑧本体



設計条件

設計荷重	活荷重	T-8 後輪一輪　32kN
	衝　撃	側壁：i=0　底版：i=0.1
構造形式		工場製品　鉄筋コンクリート箱型断面
内空寸法（幅×高さ）		340×410
土の単位重量		γ=19.0 kN/m^3
土圧係数		Ka=0.251
使用材料	コンクリート	設計基準強度f'ck=30 N/mm^{2}以上
	鉄筋	SD295
参考質量（1個当り）	本体（頂版含む）	237kg (310kg)
	仮蓋	17kg (14kg)
	機器設置ブロック	14kg (14kg)

※参考質量の( )内数値は、地上機器桝(通信用) 小 を表す。

材料表

部番	種別		規格	数量
1	仮蓋		SS400 HDZT63	1 個
2	固定ボルト（W付）		SS400　M16	4 個
3	機器設置ブロック		SUS	1 個
4	固定ボルト（W付）		SUS　M16 (M12)	4(2) 個
5	頂版		RC	1 個
6	固定ボルト（W付・HDZ）		SS400　M16	4 個
7	機器固定インサート		SUS304　M16 (M12)	4(2) 個
8	本体		RC　500×390×630 (540×410×660)	1 個
9	頂版固定インサート		SUS304　M16	4 個
10	基礎工	敷モルタル	1:3	0.009 (0.010)m^3
		基礎砕石	RC-40	0.044 (0.049)m^3

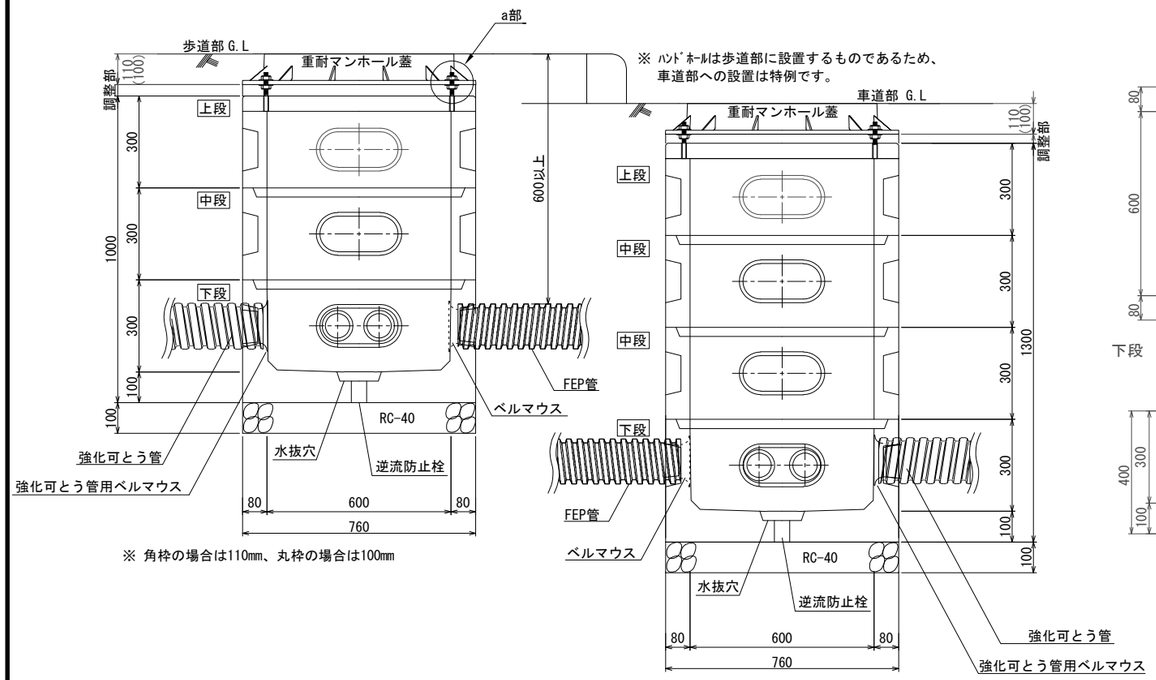
※材料表の( )内数値は、地上機器桝(通信用) 小 を表す。

NO	作成年度	地上機器桝（通信用）　Ⅲ型　構造図 500×490×630
20503	R8	

信号用ハンドホール構造図　S=1/20

断面図

（歩道部設置図）

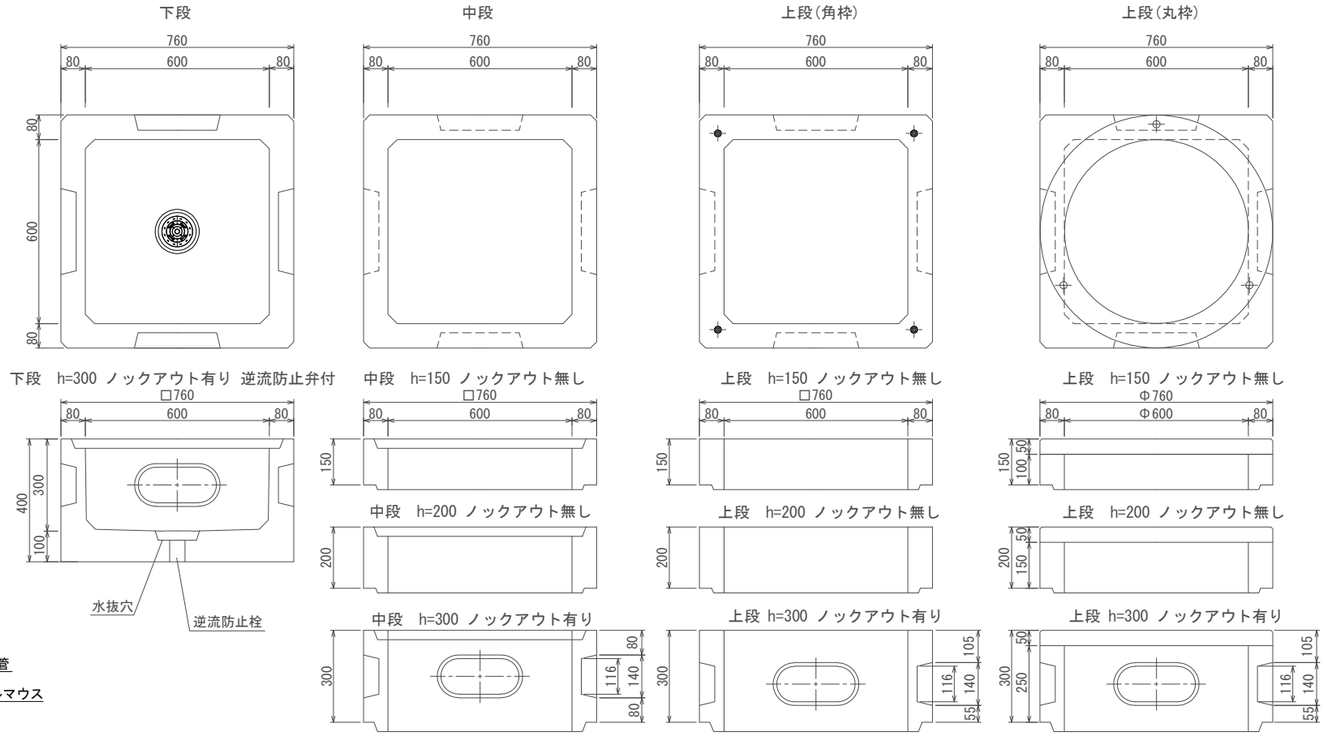


※ 角枠の場合は110㎜、丸枠の場合は100㎜

（車道部設置図）

上段部平面図

コンクリート桝



材料表(信号用ハンドホール)

100箇所当り

名　称	規格・形状	単位	数 量		備考
			歩道部	車道部	
再生クラッシャラン	RC-40	m^3	5.78	5.78	
信号用ハンドホール	上段□600×300	個	100	100	
信号用ハンドホール	中段□600×300	個	100	200	
信号用ハンドホール	下段□600×300	個	100	100	
信号用ハンドホール蓋	重耐久型φ600	枚	100	100	
信号用ハンドホール受枠	重耐久型φ600(丸枠)	組	100	100	
	重耐久型φ600(角枠)				

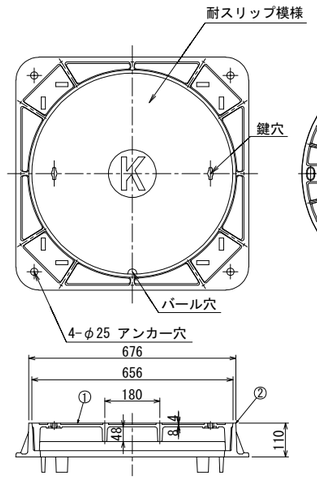
・歩道部埋設深さ：600㎜以上
・車道部埋設深さ：舗装厚+300㎜以上（最小600㎜）
・調整部に生じた隙間はモルタル埋めすること。なお、モルタル高さは50㎜以下とする。
・特殊部、ハンドホールに接続する強化可とう管を施工する際には、強化可とう管用ベルマウスを設置する。
・上段部で接続する場合は、別途警視庁と協議すること。
・立ち上がりパイプ及びFEP管は、既設の信号柱に配管する場合に限り施工する。
・信号柱の新設、移設、更新が予定されている場合は、警視庁が施工する。
・信号柱立ち上がりパイプに接続するFEP管を施工する際には、ベルマウスを設置する。
・水抜き穴に逆流防止栓を設置する。

材料表(信号用配管)

名　称	規格・形状	単位	数量	備　考
波付硬質ポリエチレン管	FEPφ80またはφ50	m	－	
ベルマウス	φ80用またはφ50用	個	－	FEP管の管口に設置
強化可とう管	φ75	m	－	
強化可とう管　ベルマウス	φ75	個	－	強化可とう管の管口に設置

※材料については、警視庁仕様のものとする。

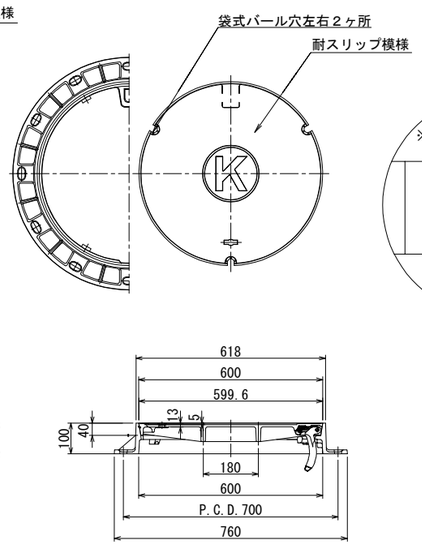
鋳鉄蓋(角枠)構造図



適　　用：車道部 T-20
破壊荷重：500kN以上

品番	部品名称	材　質	個数	備　考
1	蓋	FCD700	1	
2	受枠	FCD600以上	1	

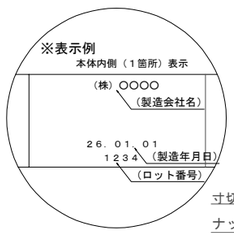
鋳鉄蓋(丸枠)構造図



適　　用：車道部 T-20
破壊荷重：500kN以上

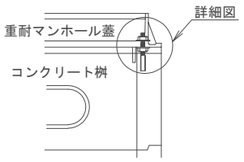
品番	部品名称	材　質	個数	備　考
1	蓋	FCD700	1	
2	受枠	FCD600以上	1	

詳細図

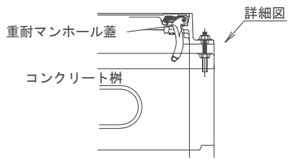


a部詳細図 S=1/10

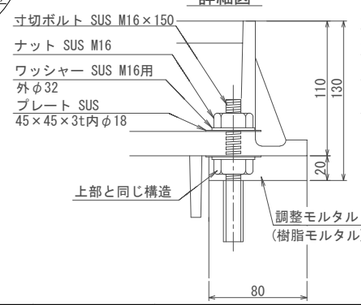
鉄蓋設置図
角枠の場合



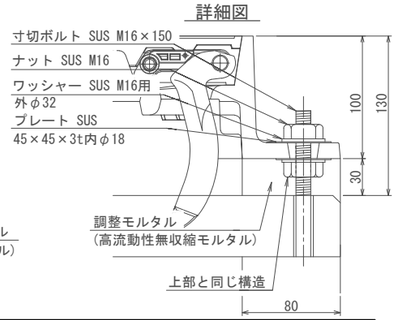
鉄蓋設置図
丸枠の場合



詳細図



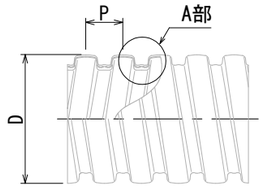
詳細図



NO	作成年度	信号用ハンドホール構造図
20801	R8	

信号管路材（強化可とう管）構造図　S=1/5

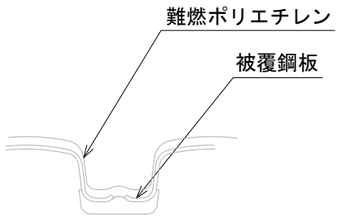
強化可とう管



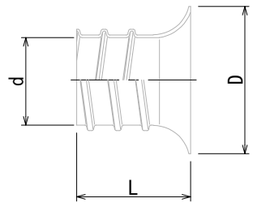
単位：mm

呼び径	外径	ピッチ
	D	P
75	105～111	25～30
100	130～145	31～37.5

A部詳細図　S=1/1



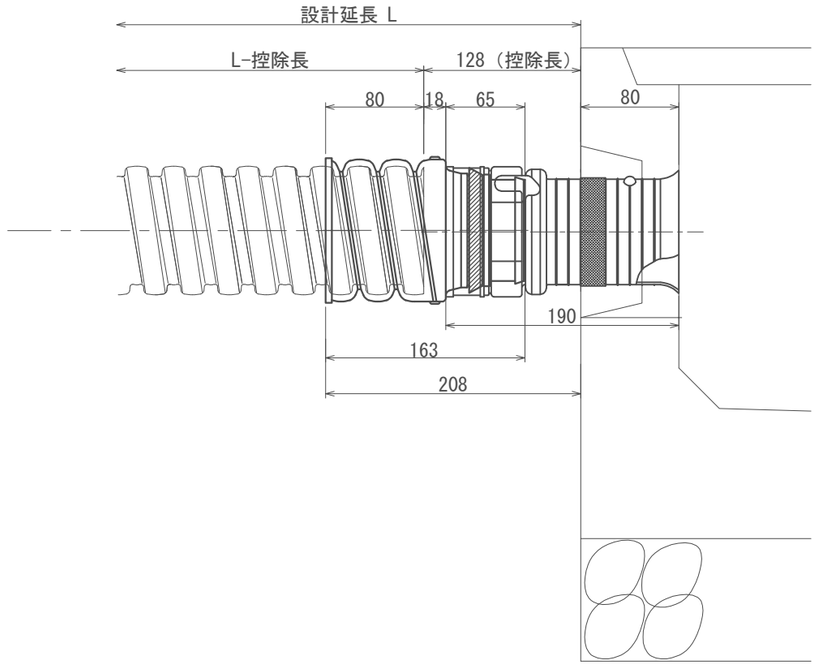
強化可とう管用ベルマウス



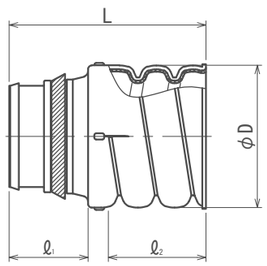
単位：mm

呼び径	外径	差込口径	全長
	D	d	L
75	120	67～73	103～105
100	147	91～98	122

信号用HHとの接続例



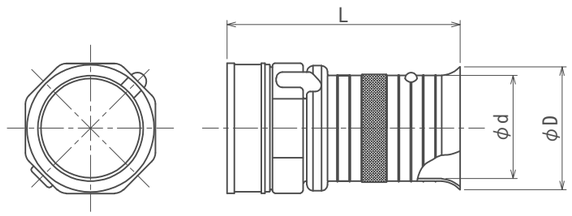
強化可とう管用差込アダプター



単位：mm

呼び径	外径	全長	差込長さ	受口長さ
	D	L	ℓ1	ℓ2（最大）
75	115.9	163	65	80

強化可とう管用ロングベルマウス



単位：mm

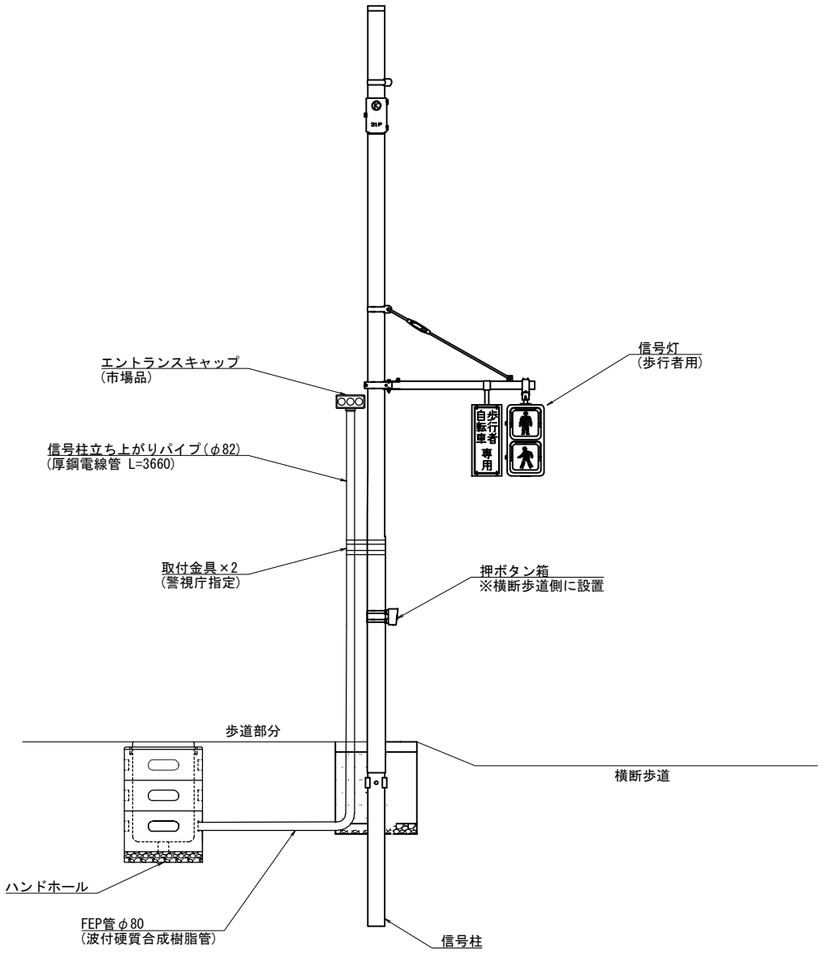
呼び径	外径	差込口径	全長
	D	d	L
75	92.6	75.0	190

※継手については適正に計上すること
※ダクトスリーブ、管枕は不要

NO	作成年度	信号管路材（強化可とう管）
―	R8	

信号柱立ち上がりパイプ構造図（参考）　S=1/30

信号柱立ち上がりパイプ取付参考図



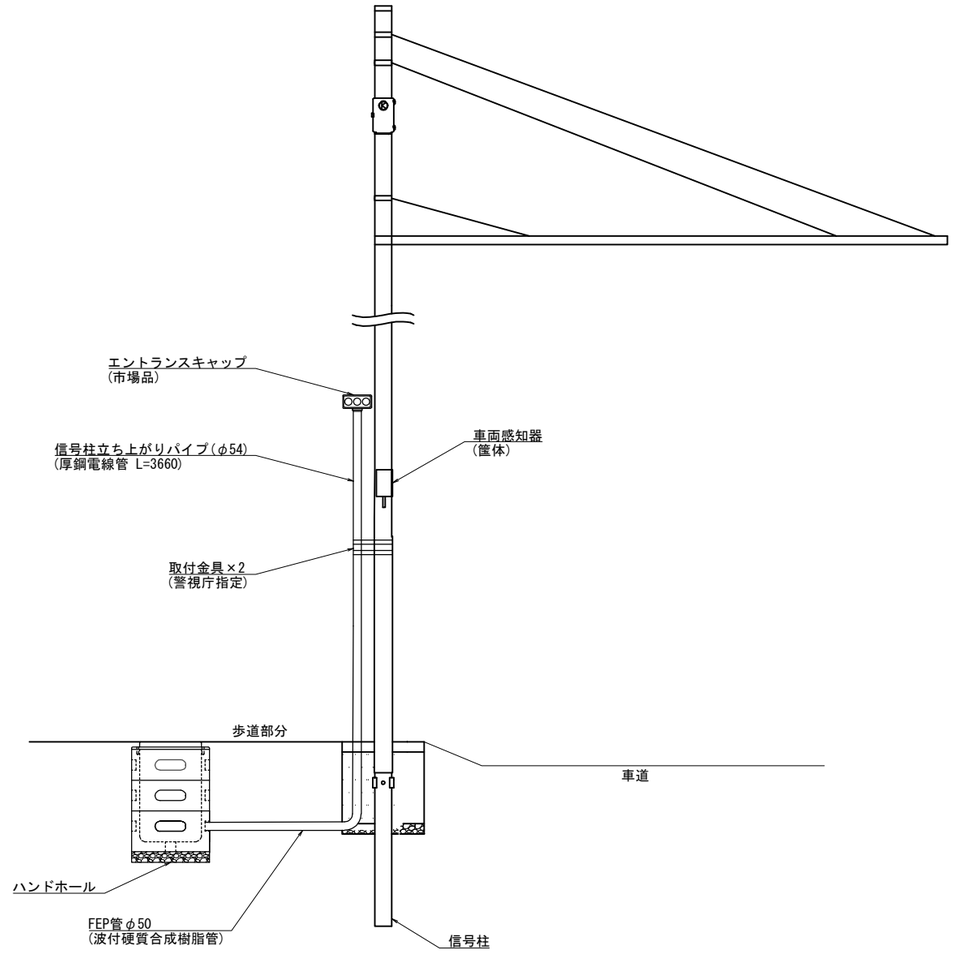
※歩行者用押ボタンが横断歩道内側に設置されるため、
　信号柱立ち上がりパイプは横断歩道外側に設置する
※FEP管と信号柱立ち上がりパイプは地中で接続する
※破砕した基礎コンクリートは原型とおり復旧する

材料表

100箇所当り

名　　称	規格・形状	単位	数　量	備　　考
FEP管	φ80	m	-	波付硬質合成樹脂管
信号柱立ち上がりパイプ	φ82	本	100	付属品（エントランスキャップ、取付金具、継手）含む 調合ペイント（2回塗り）

信号柱立ち上がりパイプ（感知器柱）取付参考図



※車両感知器の筐体の扉が開くように、筐体の反対側に設置する
※FEP管と信号柱立ち上がりパイプは地中で接続する
※破砕した基礎コンクリートは原型とおり復旧する

材料表

100箇所当り

名　　称	規格・形状	単位	数　量	備　　考
FEP管	φ50	m	-	波付硬質合成樹脂管
信号柱立ち上がりパイプ	φ54	本	100	付属品（エントランスキャップ、取付金具、継手）含む 調合ペイント（2回塗り）

NO	作成年度	信号柱立ち上がりパイプ構造図（参考）
	R8	